

第七十回帝國議會
衆議院

鐵道敷設法中改正法律案委員會會議錄(速記)第四回

付託議案
鐵道敷設法中改正法律案(政府提出)

會議

昭和十二年三月八日(月曜日)午前十時十七分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 清瀬規矩雄君

理事植村嘉三郎君 理事本田 英作君

理事林 讓治君

片山 一男君

大石 倫治君

田子 一民君

春名 成章君

出席國務大臣左ノ如シ

商工大臣 兼鐵道大臣

出席政府委員左ノ如シ

鐵道次官 喜安健次郎君

鐵道省監督局長 前田 穰君

鐵道省運輸局長 新井 堯爾君

鐵道省建設局長 河原 直文君

鐵道省工務局長 山田 隆二君

鐵道省經理局長 工藤 義男君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

鐵道敷設法中改正法律案(政府提出)

○清瀬委員長 是ヨリ開會致シマス——三

善君

○三善委員 私ハ極ク簡單ナ事ニ付キマシテ當局ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス、鐵道敷設ノ點ニ付キマシテ最初ニ御伺シタイト思ヒマス、鐵道ニ付キマシテハ、毎年建設線ヲ決メラレマシテ、著々其實行ヲ見ツツアリマスルガ、全國ノ豫定線ヲ完成スルト云フコトニ付キマシテハ、今日ノヤウナ三千萬圓乃至四千萬圓ノ經費ヲ以テ致シマシテハ、到底近イ内ニ是ガ完成ヲ見ルト云フコトハ固ヨリ出來ナイコトデアラウト思ヒマス、殊ニ豫定線デナクトモ、或ハ軍事上ノ見地カラ架ケナケレバナラヌト云フヤウナル鐵道モ出テ參ルト思ヒマス、サウ云フコトヲ考ヘマスルト、豫定線ノ完成ト云フコトハ、近キ將來ニ於テ望ムコトモ出來ヌト思ヒマスガ、地方ハ常ニ鐵道ノ速成ニ付キマシテ陳情致シテ居ルヤウナ次第デアリマスルガ、現在ノヤウナ形ヲ以テ致シマシテハ、到底地方ノ要望ニ副フコトモ出來ナイト思ヒテ居リマス、地方ガ最モ鐵道ニ對シテ熱望致スモノハ、全ク地方ノ開發、産業ノ進展ノ爲ニ熱望致シテ居ルノデアリマス

ルガ、折角豫定線ニ編入セラレテアリナガラ、何時マデ經テモ出來ナイト云フコトニナリマスレバ、地方開發ノ上ニ、或ハ産業進展ノ上ニ大ナル支障ヲ來スコトデアラウト思ヒマス、隨テ私共ノ素人ノ考ヘマスル所デハ、遠距離ノ線路デアルトカ、或ハ交通頻繁ナ所、或ハ物資ノ輻輳スル所、斯ウ云フモノハ別ト致シマシテ、其他ノ或ハ短距離、若クハ地方開發ノ爲ノ路線デアルト云フヤウナ、ソレ等ノ線路ニ付キマシテハ、若シ近ク鐵道ノ建設ガ出來ナイト云フコトニナリマスレバ、其處ニ省營「バス」ヲ運轉ナサルコトモ地方開發ノ爲ニハ一ツノ方法デハナイカト思ヒマス、然ルニ現在ノ省營「バス」ト云フモノハ、多クハ其豫定線ノ附近若クハ豫定線ニ該當スルヤウナ處、縣道若クハ國道其他ノ道路ガ開通シテ居ル處ヲ選ンデ「バス」ノ運轉ヲ爲サテ居ルヤウデアリマスルガ、將來ハヤハリ其豫定線ニ於テ道路ガ開通シテナイ處ニ於キマシテモ、地元及ビ縣等ニ於キマシテ、之ヲ開鑿シタイ、サウ云フ場合ニ鐵道ノ方デハ、之ニ「バス」運轉ノ必要ガアルト云フ御考ガアリマシタ場合ニハ、此道路ノ開鑿等ニ對シテ相當助成セラル、意思ハナイカ、斯様ニ致シマスルト、地方ノ要望モ、幾ラカ鐵道デナクトモ、省營「バス」ノ運轉ニ依ッテ其目的ノ一部ヲ達スルコトガ出來ヨウカトモ考ヘルノデアリマシテ、從來ノ通りノ「バス」經營ノ方法デハ地元トシテハ道路ノ開鑿モ獨力デハ出來ナイト云フヤウナコトデ、何時マデ經テモ其鐵道ノ建設モ出來ナイシ、又鐵道ノ運轉ニ代ヘルニ省營「バス」ノ運轉スラ出來ナイト云フコトニナリマスルト、豫定線ニ編入セラレナガラ、何時マデ經テモ何等ノ恩惠ヲ受クルコトガ出來ヌ、斯ウ云フヤウナコトニナリマスカラ、省營「バス」ニ對シテ將來ドウ云フ方針ヲ持ッテ居ラレマスルカ、此點ヲ承ッテ見タイト思ヒマス

○喜安政府委員 只今御説ノ通り今日ノ敷設法ノ豫定鐵道線路トシテ掲ゲラレテアリマスルモノハ、之ヲ建設致シマスルノニハ相當大キナ金ガ掛リマス、恐ラク十億近イ金ガ要ルンデヤナイカト思ハレマスガ、サウ云フ大キナ金ヲ要スルモノヲ、今日ノ財

政状態カラ推シテ見マシテ、近イ將來ニ於テ、是ガ完成サレルト云フコトノ豫期ノ出來ナイコトモ恐ラク事實デアラウト思フノデアリマス、又一方カラ申シマスルト、今日ノ豫定鐵道線路ガ決リマシテカラ相當年處ヲ經マシテ、其間ニハ社會情勢モ著シク變化シテ居ルヤウナ事情モゴザイマスルノデ、此豫定鐵道線路ノ根本的ニ改正ヲ加ヘル意味ヲ以チマシテ、兩三年前カラ之ニ再檢討ヲ加ヘルト云フ意味合デ著々調査ヲ進メテ居ルヤウナ状態デゴザイマス、其調査ガ出來上リマシタナラバ、モウ少シ今日ノ時勢ニ適合シタ豫定線路モ出來ルコトト思ヒマスルノデアリマスルガ、兎モ角只今御話ノ如ク、此長イ豫定線路ヲ完成スルコトノ困難ト云フコトハ、何レニ致シマシテモハッキリシテ居ルコトデゴザイマスルノデ、是等ノ事情ト、又一方ニ地方ノ方々ガ交通機關ノ完備ヲ熱望シテ居ルト云フ點モ考ヘナケレバナラス所デアリマシテ、其間ヲ縫ヒマシテ、兩方ヲ調和サス意味合ニ於キマシテ、豫定鐵道線路ニ當ル方面ニ「バス」ヲヤッタラト云フコトヲ考ヘテ數年前カラサウ云フ方針デ今日マデ進ンデ來テ居ルノデゴザイマス、將來ニ於キマシテモ、此方針ハ變ルコトハナイ、或ハ事情ニ依リマ

シテハ、更ニ之ニ一步ヲ進メテ行カケレバナラスヤウナコトニナツテ來ルノデナイカト云フコトモ考ヘテ居ル位デゴザイマス、又只今御話ニ依リマスルト、豫定線路ニ當ッテ居ル區間、又其附近ニ於テ縣道ナリ、國道ナリガ出來テ居ルモノバカリヲ鐵道省ハ「バス」ヲヤリマシテ、道路ノ完成シテ居ナイモノニハ手ヲ著ケナイ、而モ地方ノ疲弊シタ町村デハ其道路ヲ改修スルコトモ出來ナイ、結局鐵道モ出來ナケレバ「バス」モ出來ナイ、非常ニ困ッテ居ルト云フ御話デゴザイマシタノデスガ、サウ云フ風ニ非常ニ不便ヲ感ジテ居ル地方ガ多イト云フコトモ私ハ否認ハ致シマセヌ、ガ併シ鐵道省ノ方針ト致シマシテハ、決シテ出來上ッテ道路バカリヲ狙ッテヤッテ居ルト云フヤウナ、方針トシテサウ云フ態度ヲ執ッテ居ルト云フコトハゴザイマセヌデス、場合ニ依リマスルト道路ノ改修ヲ計畫致シマスル其計畫ト順應シテ、鐵道省モ其道路ノ改修ニ要スル費用ノ一部分ヲ負擔ヲシマシテ、省營「バス」ヲヤラウト云フヤウナ方針デヤッテ居ル事例モ澤山ゴザイマスノデ、方針ト致シマシテハ決シテ出來上ッテモノバカリヲ狙フト云フコトハゴザイマセヌ、勿論從來計畫ヲ致シマシタ中ニハ既ニ道路ノ出來上ッテ

居ルモノモゴザイマスルケレドモ、ソレハ偶然サウ云フコトニナツタト云フ事實ダケデゴザイマシテ、方針ト致シマシテサウ云フ態度ヲ執ッテ居ルト云フコトハゴザイマセヌ

○三善委員 只今ノ御説明ニ依リマシテ大體ハ了解致シマシタガ、鐵道ノ豫定線ニ對シテ再檢討ヲ加ヘラル、是ハ時勢ノ上カラ、色々交通系統モ變ッテ參リマスノデ、其點ニ對シマシテハ勿論必要ナコトダト思ヒマス、今鐵道「バス」ノコトニ付キマシテハ必シモ道路ガ開通シテ居ル處ノミヲ選ブモノデハナイ、道路ノ開通シテ居ナイ處デモ必要ガアッタ場合ニハ此「バス」ヲ運轉スルコトニ付テ、道路ガ開通サル、ニ對シテ相當ナ助成モスル、斯ウ云フ御意見デアリマシタガ、洵ニ私共ハ其御話ヲ聽イテ安心致シタノデアリマスガ、私共ノ今マデ知ッテ居ル狹イ範圍ニ於キマシテハ、多クハ道路ノ開通シテアル處ノミヲ選ンデ居ラレタカノヤウニ考ヘテ居リマシタガ、將來道路ヲ開鑿スル場合、殊ニソレガ鐵道ノ豫定線ニ當ッテ居ル處デアリ、而モ其處ニハ「バス」ヲ運轉シテモ宜イト云フ思召ノ場合ニハ、其道路ヲ開鑿スル際ニ費用ノ負擔モ敢テ厭ハヌ、此思召デアリマスルカ、是ハ參考ニ御聽シタ

イト思ヒマスルガ、若シ縣及ビ地元等ニ於テ鐵道ノ豫定線ニ當ッテ居リマスル所ノ道路ヲ開鑿セントスルニ當リ、鐵道省デモ其處ハ開鑿後「バス」ヲ運轉シテモ宜イト云フ、斯ウ云フ思召ノ場合ニ於キマシテハ、ドノ程度ノ助成ヲ爲サル御意思デアリマスカ、其道路ノ開鑿費ニ對シテノ補助率ガアリマシタナラバ承ッテ見タイト思ヒマス

尙ホ又現在ノ開通シテ居ル所ノ道路ニ對シマシテモ、省營「バス」ヲ、運轉シマス爲ニ、幅員ヲ増加スルトカ、或ハ「カーブ」ノアル處ヲ直線ニスルトカ云フヤウナコトデ、多少ノ經費ヲ要シテ居ルヤウデアリマス、是等ノ場合ニ何時モ内務省ト鐵道省ノ話ガ旨ク行キマセズシテ、何時マデモ解決ガ付カナイ場合モ多クアリマスカラ、是等ニ對シテハ凡ソノ標準ト云フノガアリマスカ、ドノ程度ノ助成ヲスルト云フヤウナ標準ガアリマスレバ、其標準ヲモ御示シ下サレバ洵ニ結構ダト思ヒマス、此點ヲ承ッテ見タイト思ヒマス

○喜安政府委員 道路ノ改修費ヲ、將來其處ニ鐵道省ガ「バス」ヲヤルト云フ前提ノ下ニ改修費ヲ負擔スル、實ハ此改修費ハ從來大體三分ノ一位ト云フコトヲ標準ニシテ參ッテ居ッタノデアリマスルガ、色々地方ノ

困ル事情、或ハ又特殊ノ事情等モ考慮シマシテ、其三分ノ一ガ少シ殖エタヤウナ事例モゴザイマシタノデ、昨年内務省ト協定致シマシテ、縣ニ依リマシテ多少ノ異同ハアリマスルガ、四割乃至五割位ノ負擔ヲスル、縣ニ依ッテ違フヤウデアリマスルガ、サウ云フ標準ヲ決メマシテ、鐵道ノ負擔ヲハッキリ協定致シマシタ

○三善委員 只今ノハ全部改修ノ際モ、ソレカラ局部改修ノ際モ同ジコトダト思ヒマスガ、左様ニ承テ宜シウゴザイマスカ

○喜安政府委員 御考ノ通りデゴザイマス

○三善委員 個々ノ線路ニ付テ御尋致シタイト思ヒマスガ、山陰山陽方面ノ連絡線ト云フモノハ、洵ニ地勢ノ上カラ考ヘマシテモ重要ナル路線デアルノデアリマスガ、出雲地方ト廣島縣トヲ連絡スル所ノ木次掛合線、及ビ山陰本線ト三江線ヲ連絡スル所ノ大田瀧原線、此兩線ノ如キハ數十年來是ガ建設ヲ要望致シテ居ッタノデアリマシテ、是

ハアノ地方カラ出テ居ラレタ、今ハ亡クナラレタ恒松代議士ガ悲壯ナ決心ヲ以テ此鐵道ノ建設線編入ヲ希望致シマシテ、實ハ病ヲ押シテ議會ニ出ラレテ、サウシテ其説明ニ當テ、其場合看護人マデモ議場ニ居ルコトヲ議長ノ許可ヲ得、看護人附添デ

テ説明ヲシタ、ソレガ因ニナッテ其恒松代議士ハ亡クナッタト云フノデ、洵ニ其地方民ハ恒松代議士ニ對シテ非常ナ感謝ヲシ、又其死ヲ惜ンデ居ッタヤウナ次第デアリマス、其後同地方カラ出ラレタ沖島謙三君ガヤハリ此鐵道ノ問題ニ對シテ非常ニ熱心ニ希望シテ、昭和四年デアッタト思ヒマスガ、是ハ建設線ニ編入セラレテアッテ、サウシテ愈建設スルト云フコトニナッテ居ッタノデアリ

マスルガ、偶、御承知ノ通りノ昭和五年ノアノ緊縮節約ノ時分ニ全國多クノ線路方中止ニナリマシタ爲ニ、是モ同一運命ニ陥ッテ今日マデ是ガ建設ヲ見ナイヤウナ次第デアリマス、其後沖島君ノ如キハ毎年是ガ建設スルコトニ對シテ努力シ、今尙ホ其努力ヲ繼續中デアリマシテ、吾々一同非常ニ其熱心ノ程ヲ察シテ居ルヤウナ次第デアリマスガ、本年偶、是ガ建設線ニモ漏レテ居リマスノデ、同地方ハ非常ニ遺憾ニ思ッテ居リマス、アノ地方ハ御承知ノ通り産業開發ノ上カラ申シマシテモ、或ハ交通系統カラ申シマシテモ、ドウシテモナケレバナラナイ重要ナ線路ダト思ヒマスノデ、一日モ速ニ是ガ建設ヲ要望シテ已マナイ次第デアリマスルガ、本年ハ固ヨリ出來スト致シマスレバ、十三年度ニ於キマシテ兩線同時ニ、ト

云フコトハ或ハ出來ヌカモ知レマセヌケレドモガ、一線ヅ、建設ニ編入セラレテオリ下サルコトモ、曾テ是ガ建設線ニ編入サレタト云フ其歴史カラ考ヘマシテモ、其必要其效果ト云フモノハ相當顯著ナルモノガアルト思ヒマスガ、政府ニ於キマシテハ是ガ建設ト云フコトニ對シテ如何ナル考ヲ以テ居ラレマスカ、一應承テ見タイト思ヒマス

○河原政府委員 只今山陰線ノ新線敷設ノコトニ付テノ御尋デアリマスガ、只今御示シニナリマシタ木次掛合、石見大田、瀧原ト申シマスノハ今御話ノ通り曾テ建設線トシテ工事ニ掛ル間際ニナリマシテ、其當時ノ政府ノ財政ノ都合デ一時著手ヲ見合セマシタ、併シ今御話ノ通り相當貨客ノ多イ處デゴザイマスカラ、其後省營「バス」ヲ計畫致シマシテ只今營業ヲ致シテ居ル次第デアリマス、ソレデ一時建設線デアッタ線ガ時

ノ政府ノ財政ノ都合デ繰延ベラレタ線ハ能ク再調査ヲシテ成タケ早イ機會ニ著手セヨト云フ議會ノ御註文モアリマシテ、始終吾々ハ其點ニ付テハ氣ヲ付ケテ居リマシテ、一方又省營「バス」ヲ運行致シテ居リマスルカラ、其營業成績ニ依ッテ其地方ノ經濟ノ狀態モ氣ヲ付ケ、又測量モ時々致シマ

シテ、サウシテ建設線ト致シタ場合ノ建設費ノコトモ能ク研究致シテ居リマシタ、線路ノ狀況ハ御承知ノ通り、先ヅ只今著工致シテ居リマス建設線トシテハ普通ノ程度ノ工事デ大シタムヅカシイ處トモ見テ居リマセヌ、一方經濟上ノ方ハ只今省營「バス」ノ營業ヲ始終氣ヲ付ケテ居リマシタガ、近ク木次、掛合ノ方ノ、木次ヲ通りマス共道カラ落合ニ參リマス線路ハ本年ノ十一月位ニハ全通致シマス、ソレカラ大田瀧原ニ關係ノアリマスル三江線モ、江津カラ築瀨マデガヤハリ此十月位ニ開通スルヤウニナリマス、サウ致シマス此邊ノ工事ノ能力モ大分出テ參リマスシ、一層此兩線ノ省營「バス」ノ收入モ殖エテ參リマシテ、自動車ヲ運行スル制限以上ニ貨客ガ殖エテ來ルダラウト思ヒマスカラ、私ノ方トシマシテハサウ云フ附近ノ線路ノ全通、開通ナドノ狀況カラ見マシテモ早晚工事ニ著手シナケレバナラヌ線ダト考ヘテ折角準備ヲ致シテ居ル譯デアリマス

○三善委員 只今ノ兩線ニ付キマシテハ政府ノ方デモ曾テ建設線ニ編入サレタコトモアルノデアルカラ、成ベク是ハ調査シテ速ニ著手スルヤウニ努力ヲシヨウト云フ御意見デモアリマス、殊ニ建設費ハサウ高クモ

シテ、サウシテ建設線ト致シタ場合ノ建設費ノコトモ能ク研究致シテ居リマシタ、線路ノ狀況ハ御承知ノ通り、先ヅ只今著工致シテ居リマス建設線トシテハ普通ノ程度ノ工事デ大シタムヅカシイ處トモ見テ居リマセヌ、一方經濟上ノ方ハ只今省營「バス」ノ營業ヲ始終氣ヲ付ケテ居リマシタガ、近ク木次、掛合ノ方ノ、木次ヲ通りマス共道カラ落合ニ參リマス線路ハ本年ノ十一月位ニハ全通致シマス、ソレカラ大田瀧原ニ關係ノアリマスル三江線モ、江津カラ築瀨マデガヤハリ此十月位ニ開通スルヤウニナリマス、サウ致シマス此邊ノ工事ノ能力モ大分出テ參リマスシ、一層此兩線ノ省營「バス」ノ收入モ殖エテ參リマシテ、自動車ヲ運行スル制限以上ニ貨客ガ殖エテ來ルダラウト思ヒマスカラ、私ノ方トシマシテハサウ云フ附近ノ線路ノ全通、開通ナドノ狀況カラ見マシテモ早晚工事ニ著手シナケレバナラヌ線ダト考ヘテ折角準備ヲ致シテ居ル譯デアリマス

シテ、サウシテ建設線ト致シタ場合ノ建設費ノコトモ能ク研究致シテ居リマシタ、線路ノ狀況ハ御承知ノ通り、先ヅ只今著工致シテ居リマス建設線トシテハ普通ノ程度ノ工事デ大シタムヅカシイ處トモ見テ居リマセヌ、一方經濟上ノ方ハ只今省營「バス」ノ營業ヲ始終氣ヲ付ケテ居リマシタガ、近ク木次、掛合ノ方ノ、木次ヲ通りマス共道カラ落合ニ參リマス線路ハ本年ノ十一月位ニハ全通致シマス、ソレカラ大田瀧原ニ關係ノアリマスル三江線モ、江津カラ築瀨マデガヤハリ此十月位ニ開通スルヤウニナリマス、サウ致シマス此邊ノ工事ノ能力モ大分出テ參リマスシ、一層此兩線ノ省營「バス」ノ收入モ殖エテ參リマシテ、自動車ヲ運行スル制限以上ニ貨客ガ殖エテ來ルダラウト思ヒマスカラ、私ノ方トシマシテハサウ云フ附近ノ線路ノ全通、開通ナドノ狀況カラ見マシテモ早晚工事ニ著手シナケレバナラヌ線ダト考ヘテ折角準備ヲ致シテ居ル譯デアリマス

掛ラスト云フ御話ノヤウデアリマシタカラ、成ベク早く建設サレルコトヲ特ニ希望シテ置キマス

尙ホ九州方面ノ鐵道ニ付テ御意見ヲ承テ見タイト思ヒマスガ、一體九州ノ方ハ鐵道ノ線路カラ申シマシテモ全國ニ比較シテ非常ニ少イヤウニ考ヘテ居リマス、殊ニ南九州ノ如キハ其鐵道線ニ惠マレテ居ナイコトガ最モ甚シイヤウニ思ヒマスノデ、中央

ノ森林地帯ニ屬スルヤウナ處ハ豐富ナル林產物ヲ持ッテ居リマスニモ拘リマセズ、鐵道ノ建設ガナイ爲ニ其豐富ナル林產物ヲ伐出スコトモ出來ナイシ、又植林等ヲ進メテ行クト云フコトモ出來ナイ状態デアリマシテ、一本ノ鐵道サヘアリマスレバ、其附近

ガ十分開拓サレ、國ノ寶庫ヲ開發スルコトモ出來ルト思ヒマスガ、此鐵道ノナイ爲ニソレ等ノコトガ出來ズシテ居リマスコトハ洵ニ私共ハ遺憾ニ思ッテ居リマス、此事ハ全國ノ豫定線ヲ見マシテモ、或ハ既設線ヲ眺

メテ見マシテモ、九州ガ如何ニ惠レテ居ナイカト云フコトハ地圖ノ上デモ一見明瞭ニナルヤウニ思ハレマス、此鐵道ノ建設ガ少イ所ノ九州ニ於キマシテハ鐵道ノ建設ヲ要望シテ居ルコトハ洵ニ多年デアリマシテ、地方ニ於キマシテハ是非鐵道ノ豫定線ノ編

入ヲ御願シ、又豫定線ノアル處ハ速ニ是ガ建設ヲ要望シテ居リマス、其一二ヲ申上ゲマスト、熊本縣ノ湯前カラ宮崎縣ノ妻ニ行キマス所ノ線路デアリマス、此沿線ハ林產物、礦產物等洵ニ多イノデアリマシテ、宮崎縣ト熊本縣ヲ橫斷スル所ノ唯一ノ路線ニ

ナッテ居リマスノデ、其距離ト云フモノハホソノ僅デアリマス、此僅ナ距離ガ開通ガ出來マシタナラバ、宮崎縣ノ物資ヲ熊本縣ヲ經山シテ輸送スルコトモ出來マス、又熊本縣ノ物資ヲ宮崎縣方面ヘ送ルコトモ出來

ス、中間ノ林產物及ビ礦產物ノ運搬ニ特ニ利便ヲ感ズルノデアリマスガ、此鐵道ノ開通ヲ見マセヌ爲ニ、地方民ハ毎年是ガ陳情ニ參ッテ居ルヤウナ次第デアリマスルガ、聞ク所ニ依リマスト、此湯前線ノ如キハ全國ノ鐵道ノ路線ノ中デモ洵ニ利益ヲ擧ゲテ居

ル所ノ線路デアルト云フコトデアリマスルガ故ニ、又此附近ノ建設費ニモサウ多額ノ費用モ要ラヌト思ヒマスガ、之ニ對シテ政府ハドウ云フ御意向ヲ持ッテ居ラレマスルカ、既ニ昨年カ一昨年カニ御調査ヲ下ッ

ト云フコトデアリマスルガ、マダ今日建設線ニ編成サレテ居ラナイコトハ洵ニ遺憾ニ思ッテ居ルヤウナ次第デアリマス、一應政府ノ御意見ヲ承ッテ置キタイト思ヒマス

○河原政府委員 九州ノ鐵道線路ノ少イト云フコトハ只今三善サンノ御話ノ通りデアリマシテ、本州ニ比ベマシテハ餘程少クナッテ居リマス、ソレデマダ豫定線モ相當アリマスシ、又豫定線外デモ始終吾々ノ方ノ調査致シテ居ル結果デハ適當ナ線路モアルト

信ジテ居リマスルガ、財政上ノ都合ヲ考ヘマシテ漸次實現シタイト思ッテ居リマス、只今御話ノ湯前杉安ト云フ線ハ人吉カラ湯前マデハ只今出來テ居リマスガ、此線ノ貨物ノ多イト云フコトハ、運輸ノ状況カラ見

マシテモ今御話ノ通りデアリマス、此線ヲ延バシテ日豐線ト連絡スルヤウニナリマスルト、其效能ガ一層發揮サレルモノト信ジテ居リマスノデ、此區間ハ一二度調査ハ致

シテ見マシタノデゴザイマスガ、マダ建設費其他ニ付テ十分ニ自信ノアル數字ガ出テ參リマセヌ、尙ホ昨年モ十分ニ研究致シテ居リマスカラ其上デ適當ナ案ヲ立テマシ

テ、何レ其中ニ御協賛ヲ願フヤウナコトニナルノデハナイカト思ッテ居リマス

○三善委員 只今ノ御説明ニ依リマシテ重要ナル路線トシテ御認メ下サルコトハ洵ニ結構デアリマシテ、成ベク此建設ノ速カナランコトヲ要望致シテ置キマス、尙ホ茲ニ御願致シ又御意見等モ承ッテ置キタイト思

ヒマスノハ、湯前妻間ノ距離ハ極ク短距離デアリマシテ、此處ニハ幸ヒ縣道ガ開鑿サレテ、モウ既ニコ、一兩年ノ中ニハ縣道ノ開鑿ヲ見ルト思ヒマス、其縣道開鑿ノ後ニハ、若シ鐵道ノ敷設ガ急ニ運バヌト云フコトニナリマスレバ、省營「バス」ヲ御運轉ナサルヤウナコトニハ出來ナイモノデアリ

マセウカ、今折角兩縣ニ於テ丁度豫定線ニ當ッテ居ル所ニ縣道ヲ開鑿中デアリマス、恐ラク一兩年中ニ是ハ開通致スコトデアラウト思ヒマスカラ、其曉ニ於キマシテ鐵道ノ方デ若シ敷設ガ出來ナケレバ、蓋當リ省營「バス」ノ運轉デモナサル御意思ハナイデアリマセウカドウデアリマスカ、其點ヲ伺ッテ置キマス

○喜安政府委員 先程建設局長カラ御返事申上ゲマシタ通り、此區間ニ付キマシテハ鐵道ノ必要ナルコトハ認メテ居ルノデゴザイマス、唯ソレヲドウ云フ線路ヲ取レバ最モ經濟的ナ良イ線デアるかト云フコトヲ調査シテ居ルヤウナ狀況デゴザイマス、隨ヒマシテ將來此區間ニ鐵道ヲ設ケルト云フコトニ付テノ意向ハ勿論アルノデゴザイマス、唯其時期ノ問題ニ依リマシテ、若シサウ云フ時期ガ割合ニ早イト云フコトナラバ、省營「バス」ノ問題ハ恐ラク考ヘル餘地ハナ

シテ見マシタノデゴザイマスガ、マダ建設費其他ニ付テ十分ニ自信ノアル數字ガ出テ參リマセヌ、尙ホ昨年モ十分ニ研究致シテ居リマスカラ其上デ適當ナ案ヲ立テマシ

テ、何レ其中ニ御協賛ヲ願フヤウナコトニナルノデハナイカト思ッテ居リマス

○三善委員 只今ノ御説明ニ依リマシテ重要ナル路線トシテ御認メ下サルコトハ洵ニ結構デアリマシテ、成ベク此建設ノ速カナランコトヲ要望致シテ置キマス、尙ホ茲ニ御願致シ又御意見等モ承ッテ置キタイト思

ヒマスノハ、湯前妻間ノ距離ハ極ク短距離デアリマシテ、此處ニハ幸ヒ縣道ガ開鑿サレテ、モウ既ニコ、一兩年ノ中ニハ縣道ノ開鑿ヲ見ルト思ヒマス、其縣道開鑿ノ後ニハ、若シ鐵道ノ敷設ガ急ニ運バヌト云フコトニナリマスレバ、省營「バス」ヲ御運轉ナサルヤウナコトニハ出來ナイモノデアリ

マセウカ、今折角兩縣ニ於テ丁度豫定線ニ當ッテ居ル所ニ縣道ヲ開鑿中デアリマス、恐ラク一兩年中ニ是ハ開通致スコトデアラウト思ヒマスカラ、其曉ニ於キマシテ鐵道ノ方デ若シ敷設ガ出來ナケレバ、蓋當リ省營「バス」ノ運轉デモナサル御意思ハナイデアリマセウカドウデアリマスカ、其點ヲ伺ッテ置キマス

○喜安政府委員 先程建設局長カラ御返事申上ゲマシタ通り、此區間ニ付キマシテハ鐵道ノ必要ナルコトハ認メテ居ルノデゴザイマス、唯ソレヲドウ云フ線路ヲ取レバ最モ經濟的ナ良イ線デアるかト云フコトヲ調査シテ居ルヤウナ狀況デゴザイマス、隨ヒマシテ將來此區間ニ鐵道ヲ設ケルト云フコトニ付テノ意向ハ勿論アルノデゴザイ

マス、唯其時期ノ問題ニ依リマシテ、若シサウ云フ時期ガ割合ニ早イト云フコトナラバ、省營「バス」ノ問題ハ恐ラク考ヘル餘地ハナ

シテ見マシタノデゴザイマスガ、マダ建設費其他ニ付テ十分ニ自信ノアル數字ガ出テ參リマセヌ、尙ホ昨年モ十分ニ研究致シテ居リマスカラ其上デ適當ナ案ヲ立テマシ

イダラウ、若シ是ガ相當先ニナルト云フヤ
ウナ場合ニ於キマシテハ、此處ニ省營「バ
ス」ヲヤルト云フコトモ問題ニナツテ來ルコ
ト、思フノデアリマス、併シ只今ノ所ハ「バ
ス」ヲヤルコトニ付テ何モ調査シタモノハ
ゴザイマセヌカラ、今「バス」ヲヤル意思ガ
アルカドウカト言ハレテモ、一寸御返事ニ
困ル譯デアリマスガ、併シサウ云フコトニ
自然ナツテ來ルダラウト、詰リ鐵道ガ相當先
ニナレバ「バス」ト云フ問題モ考ヘル餘地ガ
アル、サウ云フコトヲ考ヘルヤウニナリ、
シナイカト云フ一ツノ觀測デゴザイマス、
ドウゾ其點御諒承ヲ願ヒマス

○三善委員 只今ノ説明デ能ク分リマシタ
ガ、ヤハリ私共ハ鐵道ノ建設ヲ要望致シ
テ居ルノデアリマシテ、其建設ガ長ク掛
ルナラバ其間「バス」ノ運轉ヲ希望致シテ居
ルヤウナ次第デアリマスガ、マダ道路ハ開
通致シテ居リマセヌノデ、コ、一年位ハ經
過シナケレバ開通セナイト思ヒマスカラ、
開通ノ曉ニハ十分ノ御調査ヲ希望シテ置キ
タイト思ヒマス、尙ホ一線御尋致シタイノ
ガゴザイマス、熊本縣ノ宇土カラ宮崎縣ノ
延岡ニ通ズル線路デアリマス、此線路モ宮
崎縣ト熊本縣ヲ連絡スル所ノ重要ナル橫斷
線デゴザイマシテ、今宇土カラ此沿線中ノ

若干ノ距離ニ省營「バス」ヲ運轉シテ居ラレ
ルヤウデアリマス、併ナガラ此鐵道ノ建設
モ地方民ハ非常ニ要望致シテ居リマスノ
デ、其沿線ニハ是モ前ニ申上ゲマシタ湯前
妻線ト同様ニ林産物ハ内大臣山ヲ控ヘテ居
リマシテ殆ド内地ニハ見ラレナイヤウナ立
派ナル造林地帯ガアリマスシ、又礦産物ハ
此沿線到ル處ニ最近ハ産出セラレテ居ルヤ
ウナ次第デアリマシテ、此沿線ノ寶庫ト云
フモノハ非常ニ多イヤウニ考ヘラレマス、
其他交通系統カラ申シマシテモ、宮崎縣ト
熊本縣ヲ連絡スル所ノ唯一ノ路線ニ當ルノ
デアリマスカラ、此路線ノ速ナル建設ヲ要
望シテ已マナイ次第デアリマスルガ、御調
査ニハナツタト云フコトデアリマスルケレ
ドモガ、未ダニ建設線ニ編入セラレテナイ
コトハ、地元民ノ非常ニ遺憾ト致シテ居ル
所デアリマス、此線ニ付キマシテ當局ハ如
何ナル御考ヲ持ッテ居ラレマスノデアリマス
カ、又重ネテ御聽キシタイノハ只今ト同様
ニ現在宇土カラ相當ナ距離マデ省營「バス」
ヲ運轉致シテアリマスルガ、此豫定線ノ沿線
ニハ立派ナル縣道ガアリマスノデ、省營「バ
ス」ヲ延長ナサル御意思ハナイデアリマス
ルカ、又此路線ニ付テ考ヘナケレバナリマ
セヌノハ、熊本市カラ砥用町ト云フ處マデ

私設ノ鐵道ガアリマス、此鐵道ハ稍、此線
ト並行致シテ居ルノデアリマシテ、唯砥用
町カラ分岐シマシテ一方ハ熊本市、一方ハ
宇土ト云フ風ニナツテ居ルノガ違ッテ點デア
リマスルガ、大局カラ考ヘマシテ、或ハ熊本
市ト延岡トヲ連絡ラスルノガ一番宜クハナ
イカ、サウスル上ニ付テハ今ノ私設鐵道ノ
方ハ變更サレテ、或ル場合ニハ私設鐵道ヲ
買收セラル、コトモ適當デハナイカトモ考
ヘマスシ、又一面ニ宇土カラ多ク離レテ居
ナイ處ニ三角港ガアリマスノデ、此港灣ヲ
利用スル上ニ付キマシテハ、宇土ヲ經由シ
タ方ガ宜イトモ考ヘラレマスガ、何レヲ便
利トセラル、ノデアリマスルカ、將來此線
路ヲ變更セラル、御意思ハナイノデアリマ
スルカ、唯大キナル都市ト云フモノヲ目標
ニ考ヘマスレバ、熊本市カラ直チニ砥用町
ヲ經テ延岡ニ行クノガ最近距離デモアリ
マスシ、有利ナ方法ダトモ考ヘラレマス
ガ、此何レヲ御採リニナリマスカ、此點ヲ
モ併セテ御聽キ致シタイト思ヒマス

○河原政府委員 只今ノ宇土カラ三田井ニ
參リマス線ノコトニ付キマシテハ、是ハ宇
土カラ三田井ヲ通り延岡マデ參リマスノガ
豫定線ノ區間ニナツテ居ルノデゴザイマス、
此線ハ熊本縣方面ハ大體ニ於テ線路ノ狀況

ガ簡單デゴザイマシテ、地形ガ簡單デゴザ
イマスカラ、隨テ線路モ樂々ト通レルノデ
アリマスガ、宮崎方面ハ熊本縣ノ方ニ比シ
マスト、非常ニ地形ガ惡ウゴザイマス、ソ
レデ難シイカラ先ヘヤツテサウシテ早ク
此線ノ貫通ヲ期シタイト思ッテ居リマシテ、
數年前ノ議會デ協贊ヲ得マシテ、延岡カラ
日平、ソレカラ日平カラ日ノ影ヲ豫算ノ都
合ガ付キ次第ニ、順次ヤツテ行ク積リデゴザ
イマス、只今ハ日ノ影マデノ御協贊ヲ得マ
シテ、其間ノ工事ヲ致シテ居リマスガ、是
モ十二年度ニハ日ノ影マデ全通ヲ致シマ
ス、ソレデ其次ニ日ノ影宇土間ガ殘ッテ居リ
マスノデスガ、ソレハ昨今調査ヲ進メテ居
リマスカラ、調査ノ完了次第ニ建設線トシ
テ順次區間ヲ延バシテ、是ハ一日モ早く完
通サセタイト存ジテ居ルノデアリマス、ソ
レカラ熊本縣側ノ起點ヲ熊本ニ變更スルカ
ドウカト云フ御話デゴザイマスガ、熊本ニ
變更致シマスト今御示シノ通りニ地方鐵道
ヲ通ッテ參リマスカラ、幾ラカ距離ハ短縮サ
レルヤウニモ見エマス、ソレカラ只今ノ豫
定線ノ通りニ宇土カラ分レマス、三角港
ヲ利用スルノニ近イト云フ點モゴザイマス
ルガ、ソレ等各ノ利益ノアル所ハ只今御示シ
ノ通りデゴザイマス、其何レヲ採ルカト云

フコトハ此線ノ著手ヲスル迄ニ色々能ク研究ヲ致シマシテ、決定ヲシタ上デ著手ヲシタイト存ジテ思リマス、自動車ノコトハ他ノ政府委員カラ申上ゲマス

○新井政府委員 今自動車ハ宇土カラ左俣ト云フ所マデ參ッテ居リマス、此線ニ付キマシテハ一編モ調査シタコトガアリマセヌノデ、何トモ申上ゲ兼ネルノデアリマスガ、先程次官カラ申上ゲマシタヤウニ此線ハ丁度豫定線ニナッテ居リマスノデ、建設ガ非常ニ遅レルヤウナコトニナリマシレバ相當考慮セヌケレバナラヌ線ト心得テ居リマス

○清瀨委員長 三善君、一寸御相談シマシガ、實ハ大臣ハ他ニ御約束ガアッテ此處ニ長ク居ラレナイサウデアリマス、若シアナタニ大臣ニ對スル御質問ガアルナラバ、大臣ニ御質問ナサル點ヲ先ニシテ載キタイト思ヒマスガ如何デアリマスカ

○三善委員 ソレデハマダ他ノ方ノ質問ガアリマスガ、大臣ハ御急ギノヤウデアリマスカラ、大臣ニ一點私ノ質問ヲ致シテ見タイト思ヒマス、全國ノ鐵道網ヲ完成シマシ上ニ付キマシテ、私ハ斯ウ云フ感ジヲ持チマス、現在ノ豫定線ヲ完成スル上ニ付キマシテハ數億ノ金ガ要ルト思ヒマスノデ、先程ハ御尋致シマシタガ、之ニ對シテハ再

檢討ヲ加ヘテサウシテ尙ホ時勢ニ順應シテ行カケレバナラヌ、交通系統及ビ産業其他ノ方面モ稍變々點モアルカモ知レヌカラト云フコトデアリマシタケレドモ、成程其御説ハ御尤ダト思ヒマス、併シソレト致シマシテモヤハリ豫定線ト云フモノハ相當ニナルコト、思ヒマスノデ、是ガ完成ハ容易ナコトデナイト思ヒマス、然ルニ私共ガ

地方ニ居ッテ考ヘマス、一番經費ガ多ク要リマスノハ、幹線ト幹線ト連絡スル所ノ中央ニ大キナ山ガアルトカ、或ハ非常ナ危險地帯、險阻ナ地帯ガアルトカ云フ處ガ一番費用ガ要ルノデアリマスカラ、兩端ニ若シ幹線ガアルト致シマスレバ、之ヲ連絡シマスノニ中央ノ險阻ナル地帯、或ハ山間地帯カラ兩方ニ中ヲ貫クト云フコトニナリマス、經費モ非常ニ多クナッテ參ルト思ヒマス、サウスルト隨テ線路ヲ多ク建設セラルルコトモ容易ナコトデハナカラウト思ヒマス、唯一本ノ線路ヲ造リマスノニ、險阻ナル地帯或ハ山間地方ヲ貫イテ行キマス爲ニ、非常ナ經費ヲ要スルト云フヤウナコトニモ考ヘラレマス、勿論幹線ト幹線トヲ連絡スル爲ニハ中間ノ險阻ナル地帯、或ハ山間部ヲ貫クトガ一番便利ダト思ヒマス、所ガヤハリ大抵日本ノ地帯ハ兩方ガ海ニ沿ッ

テ居リマシテ、其海岸ヲ走ッテ居リマスカラ、中間部ハ非常ニ險阻ナル所デ山間部デアリマスカラ、是ハ重要ナ處ダケヲ貫イテ、其他ハ中間カラ一方ノ海岸ノ方、又一方ノ海岸ノ方ト、各々幹線ノ方ニ行ケバ大體ノ交通或ハ其物資ノ運搬ニハ左程至難デモナカラウカト思フノデアリマスガ、是ハヤハリ一利一害ヲ伴フコトデアルト思ヒマス、全國ノ豫定線ヲ成ベク速ニ建設スルト云フ意味ニ於キマシテハ、サウ云フ風ニシタガ或ハ便利デハナイカトモ考ヘマスガ、鐵道省ノ其御方針ヲ一ツ承ッテ見タイト思ヒマス

○伍堂國務大臣 具體的ニ何處ト云フコトヲ御指定ニナリマセヌト意見ヲ申上ゲ兼ネルノデアリマスガ、御説ノ通りナコトガ往往アルダラウト考ヘルノデアリマス、唯此鐵道敷設ハ御承知ノ通りニ産業ノ開發、交通ノ整備、ソレカラ國防上ノ見地カラ綜合シテ考ヘナケレバナリマセヌノデ、唯工事が難シイカラト云ッテ、今仰セニナリマシタヤウニ之ヲ容易ナ方ヘ複線ノヤウナ形ニシテヤルト云フ方針ニ決メルト云フ譯ニハ參リマセヌ、是ハ其簡處々々ノ特殊ノ事情ニ依ッテ、只今申上ゲマシタヤウナ三點ヲ綜合シテ考ヘテ見タイノデアリマス、現ニマダ

未調査ニナッテ居リマスノト、ソレカラ請願中ノモノヲ寄セマス、ト三千五百軒ばかり殘ッテ居リマス、之ヲ成ベク早く調査ヲ進メマシテ、豫定線ヲ實行シタイト云フ考デ居リマス、其調査中ニ色々地方ノ情勢等ノ變化ニ依リマシテ豫定線ヲ變ヘル場合ニハ、鐵道會議ノ審議ヲ經テ行フノデアリマス、只今御話ニナリマシタヤウナコトモ十分考慮ニ置イテ實施ヲ致シタイト考ヘルノデアリマス

○清瀨委員長 三善君、一寸相談デスガ、大臣……

○三善委員 宜シウゴザイマス、後デ又質問シマスカラ……

○清瀨委員長 サウデスカ、ソレデハ大臣君、大臣ニ——大石君

○大石委員 私ハ大臣ニ二三ノ質問ヲ試ミタイト存ジマスガ、第一ハ鐵道ノ方針ニ付テデアリマス、歷代ノ大臣ガ迭リマスル毎ニ問題ニナリマスルノハ、建主改從デアるか改主建從デアるか、或ハ改建並行デアるかト云フヤウナ問題デアリマスガ、現大臣ハ此點ニ付テドノ方針ヲ御採リニナッテ居ラレマスカ、御伺致シタイ

○伍堂國務大臣 私ハ先達テモ申上ゲマシタガ、日本ノ鐵道ノ現狀ハ諸外國ニ比シマ

シテ改良スベキ點が多アルト考ヘルノデアリマス、之ヲ滿洲ノ鐵道ニ比ベマシテモ、單リ廣軌狹軌デアルト云フ點ノミデナシニ、コチラガ優テ居ル點モアリマシ又滿洲ガ優テ居ル點モアリマスガ、要スルニ改良スベキ點が多アルト思ヒマス、若シモ建設ニ急イデ、サウシテ現在改良スベキ點ガソレガ爲ニ影響ヲ受ケルヤウナコトガアツテハ甚ダ遺憾千萬ト思ヒマス、ソコデドチラヲ主トスルト云フコトハ申上ダ兼ネルノデアリマスガ、併シ是ハ成ベク豫定ノ建設ハ出來ルダケ早ク進メテ行キタイト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、之ヲ建主改從ト申シテ宜イカドウカハ分リマセヌガ、兎ニ角此豫定サレテ居ルモノハ成ベク急イデ進行スルコトニ致シマシテ、サウシテ改良スベキ點モ財政ノ許ス限リ大ニヤラナケレバナラヌト考ヘルノデアリマス、デアリマスカラ、私ノ意見ハ大體ニ於テ建主改從ト御認メニナリマシテモ差支ナイト思フノデゴザイマスガ、サウカト云ッテ建設ニ重キヲ置イテ改良ヲ後ニスルト云フ意味デハ毛頭アリマセヌ、此點ヲ御諒解願ヒタイト思ヒマス

ラレルト云フ御話カラ其立前ヲ私共判斷ヲ致シマスレバ、所謂改良建設並行ノ御方針デアルト取ッテ宜イノデアリマスガ、恰度アンボンタン主義ノヤウナモノデ、ドチラニモ偏ラズニフヲシテ行クト云フコトニナラナケレバ仕合セデアルト存ジマス、併ナガラ建主改從ニ致シマシテモ改主建從ニ致シマシテモ、要スルニ豫算ノ關係ガ伴フモノデゴザリマスルカラ、是等ノ方針ヲ御決メニナルニハ隨テ收入ト支出トヲ計ッテ立前ヲ決メルコト、存ズルノデアリマス、只今滿洲鐵道ト内地ノ鐵道トノ御比較モアリマシタガ、内地ハ固ヨリ狹軌デアリマシテ、之ヲ改良爲サルトスレバ廣軌ニデモ改メタイト云フ御考ガアルノデアルカ、狹軌其儘現在ノ軌道ニ依ッテ、其路線ノ改良、或ハ設備ノ改良、或ハ各貨物ノ取扱ノ改良ト云フヤウナ改良ニモ種々ノ方面ガアリマシガ、先ヅドノ方面ニ急ヲ御認メニナッテオヤリニナル御見込デアリマスカ、モウ一應諄イヤウデアリマスガ御伺致シタイ

○伍堂國務大臣 我國ノ狹軌鐵道ヲ廣軌ニ直スト云フコトハ、實ハ私ノ子供ノ時カラ其議論ガアツタヤウニ思フノデアリマス、今日鐵道網ガ現狀ノ如ク擴ガリマシタコトト、ソレカラ我國ノ地勢上ノ點カラ考ヘマシテ、之ヲ廣軌ニ直スト云フコトハ實際問題トシテ到底不可能デアルト信ズルノデアリマス、デアリマスカラ只今後段ニ御申述ベニナリマシタ通りニ要スルニ設備ノ改善、ソレカラ貨物運送上ノ改善等ニ主力ヲ注グ積リデアリマス

○大石委員 其點ハソレデ終ルコトニ致シマスガ、前大臣時代ニ於キマシテ小運送ニ關スルモノハ、我國ノ運搬上ニ於ケル重大ナル問題デアルト云フノデ、是ガ解決ノ爲ニ相當ニ盡力ヲセラレテ居ッタノデアリマシガ、此點ニ付テハ前大臣ト變リナクヤハリ御取扱ニナルモノデアリマスカ

○伍堂國務大臣 小運送ノ改善ニ付キマシテハ多年ノ懸案デアリマシテ、前大臣モ之ニ關シテハ非常ニ御盡力ニナッタノデアリマス、ノミナラズ小運送業方面カラモ殆ド全國ノ小運送業ヲ網羅シマシテ、指定デアルト否トニ拘ラズ私ノ就任以來此小運送業法ノ實現ヲ希望シテ來ラレマシタノデ、別ニ提案シテアリマス通りニ打ッテ一丸トシタ小運送業ヲ行ヒタイト考ヘテ居リマス

○大石委員 近來材料ノ暴騰殊ニ鐵道ノ主要材料デアリマス鐵ノ著シキ暴騰ニ依リマシテ、鐵道ノ建設上ニ影響ヲ及ボスト云フコトハ、或ハ豫算委員會或ハ當委員會ニ於テモ質問應答ガアツタコト、存ジマスガ、一昨日モ此問題ガアツタノデアリマス、併ナガラ材料ガ暴騰シテモ豫定ノ工事ニハ支障ヲ生ジナイ見込デアアルヤウナ御話ニ伺ッタノデアリマスガ、併シ是ハ容易ナラザルコトデアルト存ズルノデアリマス、普通ニ割或ハ最高三割位ノ暴騰デアリマスナラバマダシモ適當ナ繰合セテ付ケルコト、思ヒマシ、又鐵道省ノ「ストック」ノ材料ヲ直接供給ヲスルト云フヤウナ場合モアルカモ知レマセヌガ、今日ノ如ク非常ニ暴騰ヲ致シテ居ルト致シマスナラバ、暴騰前ニ編成セラレタ豫算ニ依ッテハ到底所期ノ事業ガ進行シナイト存ズルノデアリマスガ、是等ノ點ニ對シテ如何ナル御處置ヲ以テ豫定ノ進行ヲ爲サル御見込デアリマスカ、モウ一ツハッキリ御伺シテ置キタイ

○伍堂國務大臣 御尤ナ御質問デアリマシテ、私モ鐵道大臣トシテ又商工大臣トシテ最モ苦慮シテ居ル點デアリマス、併ナガラ今日我國ノ鐵鋼需給狀況ハ、鋼材其モノニ付テハ寧ロ昨年アタリカラ輸出ニ向ッテ居ルヤウナ有様デアリマシテ、鋼材ノ生産ハ其需要ヨリモ増シテ居ルノデアリマス、唯問題トナリマスノハ、此鋼材製造ニ要スル原料デアリマス、即チ銑鐵ガ不足致シマス

爲ニ、隨テ鋼材ノ價格ガ騰ッテ居ルノデア
リマス、是ハ他ノ機會ニ於テモ申述ベマシ
タ通り、今日私ノ豫想デハ準戰時形體ト申
シマスカ、此軍事用ノ爲ニ多量ノ鋼材ヲ必
要トスルコトヲ考ヘマシテモ、鉄鐵生産設
備ガ今年ノ中ニ増加致シマスコト、ソ
レカラ滿洲ノ製鉄設備ガ十四年度カラ利用
出來マシテ、其結果五十萬噸程ノ鉄鐵ヲ内
地へ輸入シ得マシヤウナ事情カラ考ヘマシ
テモ、向後二箇年後ニハ鉄鐵ノ供給ハ非常

ニ緩和サレル、若シモ豫定通りニ此製鉄設
備ガ完成致シマス、十四年度ニ於キマシ
テハ軍需方面ノ増ス需要ヲ考慮ニ入レマシ
テモ、滿洲國以外ノ外國カラノ輸入鉄鐵ノ
量ハ十萬噸位デ濟ムヤウナ勘定ニナリマ
ス、今日鉄鐵ガ高イノハ決シテ此日鐵ノ鉄
鐵ガ高イノデアリマセヌノデ、要スルニ
多量ノ外國鉄ヲ輸入致シマス結果、其平均
シマシタモノガ高クナリマス、隨テ其鉄鐵
ヲ用ヒマシテ拵ヘマス鋼材竝ニ「スクラッ
プ」ガ輸入ガ段々困難ニナリ、又高價ニナ
ル、其二點ガ鋼材ノ市價ヲ高カラシメテ居
リマス理由デアリマスカラ、最モ苦心ノ存
スルノハ向後二箇年間デアリマス、其點ニ
鑑ミマシテ鉄鐵竝ニ鋼材ノ輸入關稅ヲ撤廢
スルコトノ提案ヲ致シテ居リマス、サウ云

フ事情デアリマスカラ今後遞增的ニ價格ガ
騰ルモノトハ私ハ考ヘマセヌ、デアリマス
カラ近キ將來ハ出來ルダケ持合セノ材料等
ヲ利用致シマシテ、豫算ノ範圍内ニ於テ豫
定ノ建設竝ニ改良ヲ行ヒタイト考ヘテ居リ
マス

○大石委員 次ニ省營「バス」ニ關スルコト
デゴザイマスガ、鐵道省ニ於ケル省營「バ
ス」運轉ノ根本方針ニ付テ私ハ今日マデ非
常ナ疑ヲ持ッテ居ルノデアリマシテ、其御方
針ノ根本ヲ御伺シタイト存ズルノデアリマ
ス、尙ホ之ニ關聯致シマシテ、我國ノ官私
鐵道ト省營「バス」トノ關係ニ付キマシテモ
私ハ非常ナ疑問ヲ持ッテ居ルノデアリマス、
同ジ鐵道省ニ於テ經營ヲシ、又認可許可權
ヲ持チ監督ヲ致シテ居リマス所ノ國有鐵道
ト私設鐵道竝ニ省營「バス」運轉ニ關スル連
絡ガ甚ダ不統一デアッテ、其間ニ連絡ト云
フモノガ殆ドナイヤウデ、全ク他省ニ於テ
扱ッテ居ルヤウナ感じガ致スノデアリマス、
例ヘバ省營「バス」ヲ計畫ナサルニ當ッテモ、
或ル地點カラ或地點マデ——一例ヲ申上ゲ
ルト、目下御計畫ニナッテ居ル岩手宮城兩
縣ニ跨ル省營「バス」ノコトデアリマスガ、
一ノ關吉岡間、是ハ國道デアリマシテ、現
ニ民營ノ「バス」ガ運轉中デアリマスガ、吉

岡仙臺間ニハ實ニ言語道斷ノ不完全極ッ
私設鐵道ガアルノデアリマス、此私設ノ不
完全極ッ交通上利用力ノ殆ドナイト言ウ
テ宜シイヤウナ、名バカリノ軌道ガ存在シ
テ居リマスガ爲ニ、國ガ行ハントスル省營
「バス」ノ運轉計畫ニ當リマシテ、仙臺マデ
之ヲ延長スルコトガ出來ナイ、吉岡デ此省
營「バス」ヲ打切ラネバナラヌ、吉岡ト申ス
處ハ田舎ノ一ツノ町デ、人口戶數、運輸交
通、又商工業ノ狀態、經濟ノ關係カラ見マ
シテモ、其處ヲ終點ニセネバナラヌ程ニ必
要ナ町デアリマセヌ、ソレヨリ數哩ノ先
ニ二十三萬ノ人口ヲ擁シテ居ル所ノ大都會
タル仙臺ガアルノデアリマス、國ガ交通事
業ヲ國策トシテ行ヒマス場合ニ、ソレガ一
ノ關吉岡間ニ限ラレテ、仙臺マデ延長スル
コトガ出來ナイト云フ關係ハ、軌道法トノ
關係或ハ其他ノ私設鐵道トノ關係ノ場合
ニ於テハ單リ此例ニ洩レマセヌデ、各地ニ
於テ斯様ノ關係ヲ生ジテ居ルノデアリマ
ス、例ヘバ富山滑川間ニ於テモ、其他御計
畫中ノモノデモ軌道或ハ私設鐵道ガアリマ
ス場合ハ大抵其終點ニ於テ止メテ居ル、サ
ウシテ其軌道若クハ私設鐵道ト聯絡ヲ取ル
御見込デアルト申サレルカモ知レマセヌ
ガ、ソレハ殆ド聯絡關係ヲ持ッテ居ラナイ

ノデアリマス、斯ウ云フコトヲ考ヘルト、
省營「バス」ト官私鐵道トノ關係ガ本當ノ國
策ノ上ヨリ見テ、成程ト思フ程ノ連絡及ビ
統一ガ取レテ居ラナイト存ズルノデアリマ
ス、又省營「バス」ヲ運轉致シマス鐵道省
ノ御方針ニ付キマシテハ、曩ニ自動車事業
法制定ノ際ニ私共質問ヲ致シマシタガ、三
大原則ヲ以テ其方針トセラレ、所謂三大原
則トハ、鐵道ノ敷設ノ出來ナカッタ、ソレ
ガ爲ニ民間ニ於テ非常ニ困ッテ居ルト云フ
ヤウナ處ニ代行的ニ行フ、或ハ民間ガ運營
致シテ居リマシテモ、如何ニソレヲ改良ラ
サセヨウト致シマシテモ其力ガナクテ不完
全ナ場合デアルトカ、或ハ民間ノ力デ以テ
「バス」ノ運轉ノ出來ナイヤウナ、交通上ノ不
便ヲ感じテ居ル場合トカ、是方三大原則デ
アリマシテ、更ニ聯絡ト云フヤウナコトモ
加ヘラレテ居ラッタノデアリマス、或ル地點
カラ或ル地點ノ間ニ鐵道トノ聯絡關係ガ不
完全デアル場合ニハソレヲ補助スル爲ニモ
ヤルト云フヤウナコトモアッタノデアリマ
スガ、要スルニ三大原則ガ鐵道省ノ省營「バ
ス」運轉ノ方針デアッタヤウニ存ジマス、ソ
レヲ今日ノ省營「バス」運轉ノ實情ニ照シ合
セテ見マシテ、此三大原則ニ根據ヲ持ッ
テ居ルト首肯セラル、モノガ少イノデアリ

ノデアリマス、斯ウ云フコトヲ考ヘルト、
省營「バス」ト官私鐵道トノ關係ガ本當ノ國
策ノ上ヨリ見テ、成程ト思フ程ノ連絡及ビ
統一ガ取レテ居ラナイト存ズルノデアリマ
ス、又省營「バス」ヲ運轉致シマス鐵道省
ノ御方針ニ付キマシテハ、曩ニ自動車事業
法制定ノ際ニ私共質問ヲ致シマシタガ、三
大原則ヲ以テ其方針トセラレ、所謂三大原
則トハ、鐵道ノ敷設ノ出來ナカッタ、ソレ
ガ爲ニ民間ニ於テ非常ニ困ッテ居ルト云フ
ヤウナ處ニ代行的ニ行フ、或ハ民間ガ運營
致シテ居リマシテモ、如何ニソレヲ改良ラ
サセヨウト致シマシテモ其力ガナクテ不完
全ナ場合デアルトカ、或ハ民間ノ力デ以テ
「バス」ノ運轉ノ出來ナイヤウナ、交通上ノ不
便ヲ感じテ居ル場合トカ、是方三大原則デ
アリマシテ、更ニ聯絡ト云フヤウナコトモ
加ヘラレテ居ラッタノデアリマス、或ル地點
カラ或ル地點ノ間ニ鐵道トノ聯絡關係ガ不
完全デアル場合ニハソレヲ補助スル爲ニモ
ヤルト云フヤウナコトモアッタノデアリマ
スガ、要スルニ三大原則ガ鐵道省ノ省營「バ
ス」運轉ノ方針デアッタヤウニ存ジマス、ソ
レヲ今日ノ省營「バス」運轉ノ實情ニ照シ合
セテ見マシテ、此三大原則ニ根據ヲ持ッ
テ居ルト首肯セラル、モノガ少イノデアリ

ノデアリマス、斯ウ云フコトヲ考ヘルト、
省營「バス」ト官私鐵道トノ關係ガ本當ノ國
策ノ上ヨリ見テ、成程ト思フ程ノ連絡及ビ
統一ガ取レテ居ラナイト存ズルノデアリマ
ス、又省營「バス」ヲ運轉致シマス鐵道省
ノ御方針ニ付キマシテハ、曩ニ自動車事業
法制定ノ際ニ私共質問ヲ致シマシタガ、三
大原則ヲ以テ其方針トセラレ、所謂三大原
則トハ、鐵道ノ敷設ノ出來ナカッタ、ソレ
ガ爲ニ民間ニ於テ非常ニ困ッテ居ルト云フ
ヤウナ處ニ代行的ニ行フ、或ハ民間ガ運營
致シテ居リマシテモ、如何ニソレヲ改良ラ
サセヨウト致シマシテモ其力ガナクテ不完
全ナ場合デアルトカ、或ハ民間ノ力デ以テ
「バス」ノ運轉ノ出來ナイヤウナ、交通上ノ不
便ヲ感じテ居ル場合トカ、是方三大原則デ
アリマシテ、更ニ聯絡ト云フヤウナコトモ
加ヘラレテ居ラッタノデアリマス、或ル地點
カラ或ル地點ノ間ニ鐵道トノ聯絡關係ガ不
完全デアル場合ニハソレヲ補助スル爲ニモ
ヤルト云フヤウナコトモアッタノデアリマ
スガ、要スルニ三大原則ガ鐵道省ノ省營「バ
ス」運轉ノ方針デアッタヤウニ存ジマス、ソ
レヲ今日ノ省營「バス」運轉ノ實情ニ照シ合
セテ見マシテ、此三大原則ニ根據ヲ持ッ
テ居ルト首肯セラル、モノガ少イノデアリ

マス、ソレデ一體省營「バス」ト云フモノヲ
鐵道省ガ直營ヲシナケレバナラスト云フヤ
ウナ根本方針ニ付キマシテ、私ハ非常な疑
ヲ持ッテ居リマスカラ、此根本方針ニ付テ是
非大臣ヨリ御伺シタイノデアリマス

○伍堂國務大臣 省營「バス」ヲ經營致シマ
ス根本方針ハ只今御話ニナリマシタ三大原
則ニ依ルコトハ勿論デゴザイマシテ、要ス
ルニ之ヲ民營ニ任シテ居「タ」ノデハ、其營
利上ノ關係カラモ、又國線ヲ連絡スル點カ
ラ考ヘマシテモ、到底任シテ置クコトハ出
來ナイト認メマシタ線ヲ、省營「バス」ニ
依ッテスルコトニ致シテ居ルノデアリマス
ルガ、只今仰セニナリマシタヤウナ一關仙
臺間デアルトカ云フヤウナ個々ノ現狀ニ付
キマシテハ、御不審ノ點ガ多クアルト考ヘ
ルノデアリマスルガ、何レモ相當ノ理由ガ
アッテ行「タ」コト、考ヘマスノデ、是ハ政府
委員カラ御質問ニ應ジテ御答辯申上ゲヨウ
ト思フノデアリマス、私ノ方針ト致シマシ
テハヤハリ從來唱ヘラレテ居リマスル三大
原則ニ依ルコト、致シテ居ルノデゴザイマ
ス

○大石委員 モウ一ツ、今ノ御答辯デハ滿
足スルコトハ出來ナイノデアリマスガ、又
大臣ハ御就任以來日モ淺ク、御多忙ノ身デ

アラレマスノデ、左様ナ具體的ノ問題ヲ一
一擧ゲテ御尋致シマシタラ確ニ御答辯ニ御
困リニナルト存ジマスカラ、是ハ差控ヘル
コトニ致シマスガ、此民營若クハ民力ニ依ッ
テ及バザル所、或ハ鐵道ヲ敷設スベクシ
テ未ダ敷設ニ至ラザル所ト云フヤウナモノ
ヲ、三大原則ノ上ニ立ッテ實際ニ御ヤリニ
ナッテ居リマスナラバ、私共ハ寧ろ國ノ仕
事ニ感謝ヲ致ス者デアリマス、近來民營ニ
於キマシテ完全ナル運營ヲ致シテ居リマス
ル路線ニ對シテ、鐵道省ガ勝手ニ省營「バ
ス」運轉ノ計畫ヲ立テラレマシテ、其民營
業者ニ何等ノ諒解モ、何等ノ交渉モナシニ
先ヅ以テ其路線ニ運轉フスルト云フ實情ニ
ナッテ居リマス、只今頂戴ヲ致シマシタ第
十八回ノ鐵道會議ニ御諮問ニナラレマシタ
路線ノ中デ、建設線トデモ申シマセウカ、ソ
レガ五路線アリマスガ、其他ニ四路線ノ廢
止ガアルト存ジマス、例ヘバ田島新藤原間
(福島縣栃木縣ニ跨ガル)長野大町間(長野
縣)北海道ノ浦河様似間、京都ノ殿田靜原
間、斯ウ云フヤウナ線ガ廢止セラレルコト
ニナルト承ッテ居リマスガ、是ハ此表ニ依ッ
テ間違ヒナイト存ジマス、斯様ナ路線ノ改
廢ノ實情、及び第十六回ノ鐵道會議ニ御諮
問ニナリマシタモノ、又其以前ニ御諮問ニ

ナッテ決定ヲシテ居リマスル路線ノ此實際
ニ就テ見マシテモ、全國ノ大部分ハ民間ニ
於テ何等不自由ナク、料金ニ於キマシテモ、
運轉回數ニ於キマシテモ「サービス」ニ於キ
マシテモ、決シテ省營ニ優ルトモ劣ラスト
思ハレルヤウナ所ガアルノデアリマスル
ガ、ソレガ屢「後」カラ鐵道ガ計畫ヲセラレ
テ、實施セラレルヤウナコトガアルノデア
リマス、私ハ昭和九年ノ議會ニ於キマシテ
質問ヲ致シマシタ、此今回廢止ニナリマス
ル長野大町線ノ如キハ民間ノ業者ガ既ニ十
分ナル設備ノ下ニ運轉ヲシテ居ルノデア
ルカラ、省營「バス」經營ノ必要ガナカラウト
云フコトヲ申シテア「タ」ノデアリマスルガ、
遂ニ之ヲ實現セラレテ、結局民間ト争ヒマ
シタ結果、廢止スル方ガ宜シイト云フ所ノ
御結論ニ達シタ、遲シト雖モ私ハ斯様ナ
コトハ其鐵道省ノ御處置ヲ満足ニ思フノデ
アリマス、或ハ田島新藤原間、浦河様似間、
殿田靜原間ト云フヤウナモノニ付テハ尙ホ
疑問ガゴザイマスルガ、仕事ガ少シ細カク
ナリマスカラ大臣ニハ御尋致シマセヌ、ソ
レカラモウ一ツ、鐵道デハ本來營業料ト云
フモノヲ持ッテ居ラレルノデアリマス、此
營業料ト云フモノ、逆用ヲ今見テ私ハ驚イ
テ居ルノデアリマス、營業料ハ本來私設鐵

道、或ハ私設軌道ニ對シテ單價ヲ安クサセ
ル意味ニ於キマシテ、料ノ延長ヲ認メテ
居ルノガ原則デア「タ」ト存ズルノデアリマ
ス、詰リ私設鐵道、軌道等ハ短距離ノ所ヲ
營業シテ居リマスルカラ、營業費ガ多クシ
テ一料當リノ料金ヲ高クセネバナラヌ、然
ルニ一方國鐵ノ方ハ安イ、一方ガ著シク
高イ、ソレデハ頗ル體裁モ宜シクナイト云
フ關係カラ、營業料十哩ノ所ヲ十二哩或ハ
十三哩ト云フ延長ヲ認メテ居ルノガ、本來
ノ鐵道省ニ於ケル所ノ便法デア「ル」營業料
デア「ル」ト存ジマス、然ルニ此延長ヲシテ置
クベキ筈ノ營業料ヲ省營「バス」ニ逆用ヲ致
シマシテ、營業料ヲ短縮シテ居ル例ガアル
ノデアリマス、是ハ長野縣ニ於キマシテ
私ハ實際ソレヲ調べテ參「タ」コトモゴザイ
マス、殊ニ石川縣ノ金澤森本間、是ハ現在
ノ路線ニハ民營ノ「バス」ガ二會社運轉シテ
居「タ」ノデアリマス、其處「後」カラ省營「バ
ス」ガ入「テ」行キマシテ……

○清瀬委員長 大石君、是ハ一線々々ニ付
テハ大臣ガ御承知ノ筈モナイシ、御忙シイ
ノデアリマスカラ他日ノ機會ニシタラドウ
デスカ
○大石委員 是ハ根本方針デスカラ——四
料ヲ一料ト云フコトデヤッテ居ル、斯ウ云

フヤウナ實例ガアルノデアリマス、斯ウ云フ譯デアリマスカラ、省營「バス」ノ民業壓迫ト云フコトガ隨處ニ起テ居ルノデゴザイマシテ、鐵道省ノ省營「バス」ハ根本方針ヲ三大原則以外ニ置カナイト云フヤウナコトデゴザイマスガ、非常ニ隨處ニ民業ノ壓迫ナリ、サウ云フヤウナ不合理ナコトガ現レマシテ、國ト民間ト對立的ニ行ッテ居ルト云フコトガ隨處ニ現レルノデアリマスカラ、此根本方針ニ付テ大臣ニ一應ノ御諒解ヲ持ッテ戴キタイト思フノデアリマス、御尋シタイ事ハ澤山ゴザイマスルケレドモ、短時間ノ場合デアリマスルサウデアリマスカラ、是ダケニシテ置イテ御答辯ハアッテモ無クテモ宜イノデアリマス

○伍堂國務大臣 マダ就任匆々デゴザイマスカラ、實情ニ付テハ議會デモ濟ミマシタナラバ篤ト一ツ調査致シマシテ、サウシテ果シテ原則ニ非常ニ違ッテ居ルカドウカ検討シテ見タイト思ヒマスカラ御了解ヲ願ヒマス

○清瀬委員長 植村君、大臣ハ大變御急ギノヤウデスカラ、次ノ機會ガアルト思ヒマスカラ……

○植村委員 私ハ一言ダケ——私ガ一言御伺シタイト思ヒマスノハ、大臣ガ御見エニ

ナルト呼ビニ來ラレル、腰掛ケラレルト浮腰ニナッテ居ラレル、是デハ審議ガ出來ナイト思ヒマス、私モ理事ノ職責ヲヤッテ居ル者デアリマスルガ、大臣ガアチラニ參リマスルコトハ重要ノコト、思ヒマスガ、勿論コチラモ大事ナ鐵道ノ敷設法案デアリマス、殊ニ此委員會ニハ此次ニ買収法案モ併託ニナルドラウト思ヒマス、其外色々ナ案ガ出ルドラウト思ヒマスガ、斯ウ云フコトデハ絶對ニ審議ガ出來ナイト思ヒマス、之ニ依ッテ審議ガ延ビタリ遅レタリシタッテ、吾々ノ責任ノアルモノデナイト御承知ヲ願ヒタイ、殊ニ民政黨ノ諸君モ出テ來ラレナイ、ソレハ大臣ガ御見エニナラナイカラ出テ來ラレナイノデス、鐵道省ニハ多士濟々、政府委員ガ澤山オ居デニナルカラ同ジコトデアリマスケレドモ、大臣ニ質問致シマセヌトドウシテモイケナイコトガアル、大臣カラ御答辯ヲ伺フノハ吾々ノ特權デアリマス、ノミナラズ質問スレバ委員長ガ御止メニナル、大臣ニ關係ノコトダケ先ニヤレト云フ、ナンデモ一生懸命質問シテ材料ヲ申上ゲヤウトスルト一寸待テ、一寸待テヂヤ、折角意氣込シテ來タ諸君カラノ質問ガ出來ナクナル、私ハ此際申上ゲテ置キマスガ、今後斯ウ云フコトデハ審議ガ出來マ

セヌカラ、ソレデ大臣ノ御暇ノアル時ニ委員會ヲ開イテ戴ク、其コトヲ私ハ希望シテ置キマス、サウシマセヌト斯ウ云フコトヂヤ何ニモナリマセヌ、民政黨ノ連中ハ皆怒ッテ來ヤシマセヌ、聽カウト思ッテモ大臣ガ來ラレヌ、次官政府委員ガオ居デニナッテ結構デアリマスガ、大臣カラ聽キタイノガ吾々ノ希望デアリマス、又國民モソレヲ聽キタイト思ッテ居ルノデス、ソレデ大臣ノユックリ御出席ノ出來ル日ヲ御選ビニナリマシテ委員會ヲ開イテ戴キタイト思ヒマス、此法案ハ僅ナ法案デアリマスケレドモ、是カラ併託ニナルコトガ澤山アルト思ヒマスカラ……

○清瀬委員長 御話ノヤウニ色々ノ案ガ又併託ニナルカモ知レマセヌガ、其場合ニ又大臣ト御話ニナル機會モアルカト思ヒマシテ、今日ハ非常ニ無理ノ所ヲ一寸デモト云フノデ御願シタノデアリマスカラ、ソレデ御本人ノ諒解ヲ得テ、大臣デナクテ宜イ質問ヲ後廻シニシテ戴イテ、大臣ニ對スル質問ダケヲ先ニ御願シタノデス、ヤハリ是ハオ互デアリマスカラ讓合ッテ、此處バカリニ來テ戴クト云フ譯ニ無論參リマセヌ、貴族院ノ關係モアレバ外ノ委員會ノ關係モアリマスカラ、委員長トシテハ出來ルダケ大

臣ニ來テ戴キタイトノデスガ、併シ外ノ委員會ノコトモ考ヘナケレバナラヌノデ少シ御無理ヲ願ヒマシタケレドモ、何レ御希望通りニ他ノ機會ニ大臣ニユックリ御話ヲ御伺スル機會ヲ作りタイト思ヒマス

○植村委員 宜ク諒承致シマシタガ、私ハ自分ノ言フコトダケヲ大臣ニ申上ゲテ大臣カラ御答辯ヲ得タイト云フノヂヤゴザイマセヌ、皆様ノコトヲ尊重シテ伺ッテ居ル、自分ノ質問ダケ濟ンデ人様ノ質問ハ聽キタクナイト云フ考ヲ持ッテ居ルノヂヤナイ、ドノ答辯ニ對シテモ吾々ハ御答辯ヲ拜聽スルコトハ結構デアアルト思ッテ居リマス、ソレヲオ出デニナッテ一寸腰ヲ掛ケラレルト云フト直グ尻ヲ持上ゲラレル、是ヂヤ張合ガナクナル、大臣ガ出テ答ヘラレルト云フノデ折角色々研究ヲシテ來テ居ルノヲ委員長ガ御止メニナル、ソレハ大臣ガ居ラレヌデモ洵ニ政府委員ノ立派ナ方々ガ御居デニナリマスカラ差支ハアリマセヌガ、國民ノ聲トシテ吾々ノ質問ヲ聽イテ戴ク爲ニ、モットユックリ出ラレル時ニ再ビ委員會ヲ開イテ戴キタイト

○伍堂國務大臣 洵ニ恐縮ノコトデゴザイマス、今日ガ特ニ工合ガ悪カッタノデゴザイマス、貴族院ノ本會議デ私ニ對スル質問

ラヤッテ居ラレルサウデアリマシテ、ソレカラ大藏大臣ト私ト對決デナクチャイカスト云フノデ呼びニ來テ居ルノデ、今日ガ特別ナノデアリマス、他日又出來ルダケ皆様ノ御満足ニナルヤウニ、時間ヲ拵ヘマシテ御答辯ヲ致シマス、甚ダ申譯ナイノデスガドウゾ御諒承ヲ願ヒマス

○清瀬委員長 ソレデハ大石君ノハ……

○大石委員 私ノハ……三善君ノ方……

○清瀬委員長 ソレデヤ三善君

○三善委員 成ベク大臣ノ御便宜ヲ圖ル爲

ニ、質問ガ一向遲タトシテ進マズ、ヤリ掛ッテ止メルト云フコトハ困ルノデアリマスガ是ハ已ムヲ得マセヌガ、ソコデ先程私ガ質問致シマシタ宇土延岡間ノ鐵道ニ付キマシテ、此建設ニ付キマシテハドウモ熊本縣ノ方ハ地形ガ良クテ、其工費モ比較的少ク難工事モナイヤウデアリ、所ガ宮崎縣ノ方ガ何カ難工事ガアルト云フヤウナ思召デ、難工事ノ方カラ著手スルト斯ウ云フ御意見ノヤウデアリマシタガ、私ハソレナラ却テ難工事デナイ方カラ著手シテ下サルト其延長モ多ク行キハセシカ、利用程度モ其方ガ利用價值ガ多クナリハセヌカ、同ジ工費ヲ使フトスレバ難工事デナイ方カラ著手シテ下サルナラバ其利用價值ガ多クテ宜

イト思ヒマスガ、其點ハ如何ナモノデゴザイマセウカ、若シ許シマスレバ、兩端起工デモナサッテ下サレバ一方平易ナ、難工事デナイ處ノ方ノ線路ハ著々進ンデ參リマスカラ、隨テ此線路ニ對スル利用價值ト云フモノハ非常ニ多クナッテ來ルト、斯ウ思ヒマスガ、其點ノ尙ホ一應承ッテ置キタイト思ヒマス

○河原政府委員 或ハ難工事デアルカラ先

ニヤッタト云フ風ニ御聽取ニナツタカモ知レマセヌガ、此線ハ延岡カラ豫定線デゴザイマシテ、ソレニ掛ル時ニ既ニ數議會前ノ議會デ御協賛ヲ得マシテ著工ヲ致シテ居リマスノデ、ソレデ難工事デアルカラト申上ゲタノハ、難工事デアルカラ線路ノ選定ニ今苦心致シテ居ルノデアリマス、御承知ノ通り宇土延岡ト云フ斯ウ云フ一本ノ豫定線デアリマシテ、是ダケノ全體ノ線路ガ大略決マリマセヌト其線ノ利用價值ガ決定シナイ譯デアリマシテ、只今申上ゲタノハ難工事ダカラ工事ヲ先ニヤッタト云フ意味デナク、全體ノ線路ヲ決定スル上ニ於テ宮崎縣側ノ方ガ測量ガ難カシクテ今研究中デアルト、斯ウ申上ゲタノデ、此延岡ノ方カラ著手シマシタコトハ數年前ノ議會ニ於テ著手ニ決ッタノデ、此目的ハ確ニ三田井附近ノ高

千穂ノ遊覽ト云フコトヲ主トシテ、是カラ掛ッタモノト思ヒマスノデ、難工事ダカラ先ニヤッタト云フヤウニサウ御取リニナリマシタラ取消シマス、測量ノ爲ニ三田井附近、詰リ宮崎縣下ノ工事ニ掛ッタ、只今ノ所ハ測量デゴザイマスガ、測量ガ濟ミ次第成ベク兩口カラ掛ルヤウニシタイト思ヒマス

○三善委員 能ク分リマシタ、私共ハ餘リ

線路ガ長ク懸案ニナッテ、マダ開通ヲ見マセヌカラ、速成ヲ望ム餘リ兩端起工トモ申上ゲタヤウナ次第デアリマシテ、出來マスレバ兩端起工ニ依ッテ速ニ開通シテ、完成ガ一日モ早クアルヤウニ希望致シタイト思ヒマス、ドウカ此點ハ十分御諒承ヲ願ッテ置キタイ、尙ホモウ一ツ大分縣ノ線路ニ付テ御尋致シタイト思ヒマスガ、日田守實間デアリマス、此日田守實間ハ、是ハホンノ近距離デアリマシテ、守實カラ中津ニハ私設鐵道ガ行ッテ居ルヤウデアリマシス、此日田守實間ノ僅ナ距離ガ建設サレマスレバ、中津へ行キマスノニ非常ニ便利ニナリマス、是コソホンノ短距離デアリマスカラ、政府ニ於キマシテハ速ニ建設ガ必要ダト思ヒマス、御承知ノ通り此日田ハ有名ナル日田盆地ノアル處デアリマス、又中津モ

有名ナル處デアリマス、此中津ト日田トヲ連結スルコトハ最モ意義アルコト、思ヒマスノデ、此點ノ御見解ヲ一應承ッテ見タイト思ヒマス

○河原政府委員 中津日田間ノ線路ハ、是

ハ九州ノ中部ノ山嶽地帯ニアリマス物資ヲ日豐線ニ搬出スルト云フ重要ナル使命ヲ持ッテ居ルモノデアリマス、豫定線ニモ入ッテ居リマス、其後中津築港ガ實現致シマシテ、其時分カラ築港完成マデニ工事ニ著手スル方ガ、築港ガ出來レバ一層其必要ガ起ルト云フコトデ、爾來一二度測量ヲ致マンタ、中津カラ守實マデハ、是ハ素人ノ方ガ御覽ニナリマシテモ私共ガ見マシテモ同ジヤウデ、是ハ簡單デ、守實日田間ガ難工事ダカラト云フコトヲ地方ノ人モ言ッテ居ラレマス、吾々モ現場ヲ見ル迄ハサウ云フヤウナ積リデゴザイマシテ、相當測重ニモ骨ヲ折リマシタ、併シ實際測量ノ進ムニ從ヒマシテ、此處ニ大石峠ト云フ峠ガゴザイマス、此峠ヲ抜クノニ「トンネル」ガ出來マスガ、其前後ガ難カシイノデ、ソレヲ除ケバ別ニサウ特別ニ難工事ト云フ程デモナイノデアリマス、此大石峠ト云フノニ適當ナ路線ヲ付ケタイト思ヒマシテ、昨年モ調査測量ヲ致シマシタ、本年モ亦測量致シマシ

テ、其結果ニ依リマスト一層良イ線路ガ見付カルノデハナイカト思ッテ、吾々モ樂シミニシテ居リマスガ、其線路ガ決定次第ニ財政ノ都合ヲ考ヘテ著手スルヤウニ致シタイト思ヒマス

○清瀬委員長 大石君

○大石委員 實ハ私ハ大臣ニ主トシテ御尋シタイノデアリマスケレドモ、大臣ガ中々出席ガ意ノ如クナラヌサウデアリマス、又今日延バシマシテモ中々サウ云フ機會ハナイカモ知レマセヌカラ、已ムヲ得ズ政府委員ニ御尋ラスルコトニ致シテ置キマス、政府委員ハ從來能ク私共知り合ッテ居ル人方デアリマスカラ、大抵御聽シナクテモ略察シテ分ルノデアリマスケドモ、併シ念ノ爲ニ一ツ伺ッテ置クヨリ仕方ガナイト存ジマス、若シ出來マスタラバ次ノ機會ニ於キマシテデモ、大臣ヲシテ相當ノ説明答辯ヲ希望スルノデアリマス、先刻伺ヒマシタ一等車運轉ノコトハ簡單デアリマスカラ一ツ伺ッテ見マスガ、現在我國ノ鐵道ノ中一等車ヲ運轉シテ居リマスル路線ハ東海道線ダケデアリマシテ、其他ハ悉ク廢止セラレテ今日ニ至ッテ居ルノデアリマス、廢止ヲ致シマシタ當時ノ鐵道省ノ收支經濟關係ハ從來ノ赤字ガ赤字ニナッテ行クト云フヤウ

ト場合デアッテ、其關係カラモ廢止セラレル運命ヲ迎ッテ存ズルノデアリマス、併シ其後ハ再び赤字トナリマシテ、年次收入ガ増加ヲ致シテ經濟的ニハ餘裕ヲ生ジテ居ルト思ヒマス、又東海道線以外ノ地方ニ一等車ノナイト云フノハ、我國ノ文化ヲ進メル上ニ於キマシテモ、殊ニ我方東北、北海道ノ如キ、或ハ南九州ノ如キ、其他交通ノ關係ニ依ッテ相當身分ノアリ、又相當資力ノ豐富ナル人ノ旅行ニ多少ノ障礙ヲ與ヘテ居ルト思フノデアリマス、我國ノ文化ノ振興ノ上ニモ影響ガアルト存ズルノデアリマス、殊ニ近來外人ノ來遊スル者ガ頗ル多クナリ、又近ク萬國大博覽會デアルトカ、或ハ「オリエンピック」大會ト云フヤウナモノガ我國ニ開カレルコトニナリマスレバ隨テ世界ノ多數ノ人々ガ我國ニ來遊スルト存ズルノデアリマス、斯様ナ時ニ當ッテ獨リ一等車ガ東海道線ノミニ限ラレテ、其他ノ樞要ナル幹線ニ之ヲ持ッテ居ラヌト云フコトハ、我國ノ文化ヲ彼等ニ示ス上ニ於キマシテモ非常ナル不名譽デアリ、不面目デアルト存ズルノデアリマス、内ハ地方開發ノ爲ニ、文化ヲ一方ニ偏セシムル處ガアリ、事業ノ興隆ヲ阻止スル處ガアリ、他面ニ於キマシテハ外國人ヲシテ全國的ニ旅行ヲ爲サシム

ル點ヲ阻止シ、或ハ旅行スル場合ニ於キマシテハ文化ノ跛行的ナルニ彼等ヲシテ落膽セシムル處ガアル、斯様ナ關係カラヤハリ樞要ナル幹線ニハ一等車ヲ復活運行スルコトガ適當デアラウト存ジマスルガ、政府ハ如何ニ御考ニナッテ居リマセウカ

○新井政府委員

私カラ御答致シマス、此一等車ノ利用ニ付キマシテハ、舊イコトヲ申シマスト、大正八年ト大正十五年ニ一度整理シタコトガアリマス、其時ニ殘リマシタノガ、東海道、山陽、東北線、九州線、北海道ノ主要列車ニ連結ヲ殘シマシタ、其後數字のニ乗客人員ヲ調査致シマスト、東海道線及ビ山陽線ヲ除キマス外ハ大體私等ガ乗ルヤウナ次第デアリマシテ、有賃ノオ客様ト云フノガ一人乃至四人、一番多イ時デ四人ト云フヤウナ數字ガ出マシテ、乗ッテ居ルコトハアリマスガ、ソレハ鐵道従事員ガ乗ッテ居ルコトガ多イノデアリマス、ソレデ此高イ車輛ヲ不經濟ニ運轉スルト云フコトガ一ツ、ソレカラ其爲ニ二三等ノ御客様及ビ小荷物トカ、郵便物トカ云フモノノ輸送ニ車輛ガ足りナイト云フヤウナ状態デアッタノデアリマス、ソレニ鑑ミマシテ大體一日平均五人以上ト云フ線ヲ採リマスト云フト東海道線ト山陽線以外ニナイノデ

アリマス、現在殘ッテ居ル線ガ今申シマシタ東海道線、山陽線デアリマス、昭和九年ノ十二月一日ノ改正ノ時ニ御承知ノヤウニ各線共速度ヲ上げマシタ、速度ヲ上げマスト云フト牽引力ガ少クナル、機關車ガ餘計引張レナクナルト云フノデ、益、一等車ヲ外シテ二三等車ヲ殖スヤウニシナケレバ大衆ノ希望ヲ滿ス譯ニ行カヌ、御存ジノヤウニ九年十二月一日以降、北海道方面ガ八時間モ短縮シタト云フヤウナコトノ結果、大衆ヲ満足サセル爲ニハ一等車ヲ外シテ、二等車ナリ、三等車ヲ附ケナケレバナラヌト云フ状態ニナリマシタノデ、先程申シマシタ不經濟デアルト云フコト、大衆ノ満足ガ出來ナイ、昨今ニ於キマシテハ、御存ジノヤウニ尙ホ込ミマシテ、何トモ致シ方ナクシテ、皆様方ニ御詫ビシテ居ルヤウナ次第デアリマス、ガ併シ御存ジノヤウニ、東北線及ビ北海道線ニ對シマシテハ、一等車ハ外シマシタガ、二等車デ「コンバートメント」ニナッテ居リマスモノヲ運轉致シマシテ、相當山陽線、東海道線ノヤウナ箱ヲ動かシテ居ッテ緩和シテ居ル次第デアリマス、今大石サンノ仰シヤルヤウニ、將來二千六百年ナリ、或ハ「オリムピック」ノ時ニハドウスルカ、又觀光事業ガ盛ニナッテ、外

國人ガ非常ニ入ッテ來ルヤウニナッタラドウ
スルカト云フコトニ付キマシテハ、折角運
輸局ト國際觀光局ト色々打合セ中デアリ
マス、其頃ニナリマシタラ、尙ホ再檢討ラ
致シマシテ、外國人ナリ或ハ其時ノ情勢ニ
適應スルヤウニ致サナケレバナラスト云フ
コトヲ考ヘテ居リマス、國際觀光局ト旅客
課ト時々打合セラ致シマシテ、其時ノ事情
ニ順應スルヤウニ致シタイト考ヘテ居リマ
ス

○大石委員 更ニ省營「バス」ニ付キマシテ
御伺シタイトデアリマスガ、只今大臣ニ御
聞キ致シマシタ四路線削除ノ件デアリマス
ガ、四路線ノ中現ニ省營「バス」ヲ運轉致シ
テ居リマシタモノハ長野、大町間ダケデハ
ナカラウカト思ヒマス、其他未ダ實施前ノ
線路デアリハシナイカト思ヒマスガ、是等
四路線ノ廢止ニ付キマシテドウ云フ理由デ
アリマスガ、御伺致シタイト

○新井政府委員 大石サンノ御質問ニ御答
致シマスガ、一寸少シ違ッテ居ル點ガアリ
マス、長野大町ハマダ運轉致シテ居リマセ
ヌデシタ、長野大町ニ付キマシテ三四回前
ノ議會デ色々大石サンアタリカラ御小言ヲ
頂戴致シマシタ、其後民營自動車ノ狀態ヲ
見マスト、到底民營自動車ニ匹敵出來ナ

イ、運賃カラ申シマシテモ、回数カラ申シ
マシテモ、省營トシマシテハアレダケヤッ
タノデハ到底旨ク行カヌダラウト云フ程ニ
民營ガ發達致シマシタノデ、是ハ御説ニ從ッ
テ中止致シマシタノデアリマス、其他ノ三
線路ニ付キマシテハ田島・新藤原間ハ前議
會ト心得テ居リマスガ、建設線ガ確定致シ
マシテ起工致スコトニナリマシタ、ソレカ
ラ浦河・様似間モ同ジク様似マデガ建設線
トシテ起工致スコトニナッテ近ク完成スル
コトニナッテ居リマス、又殿田・靜原間モ建
設線ガ出來マシタノデ、又建設線ガ完成シ
テ鐵道ガ通ル所ニ二重投資ヲスルノハイカ
ヌダラウト云フノデ止メマシタ

○大石委員 サウダラウト想像致シテ居リ
マシタ、大體想像通りデアリマス、併シ此
廢止セラレタル長野・大町間ヲ除キマシタ
他ノ三路線ハ民營「バス」ノ發達ニアラズシ
テ、鐵道架設ノ進捗ノ關係ニ伴フト云フノ
デアリマス、ダガ此路線ヲ見マスト、廢
止セザル分ノ残りガアルヤウデアリマス
ガ、例ヘバ浦河・様似間ヲ廢止スルト様似・
幌泉間ガ殘ル、殿田・靜原間ヲ止メレバ靜
原・京都間ガ殘ルト云フヤウナコトニナリ、
田島・新藤原線ニ於キマシテモ同様ノ残り
線ガアリハシナイカト思ハレマスガ、斯ウ

云フ線ハヤハリ省營ヲ運轉スル必要ヲ御認
メニナッテ居ルノデアリマスガ
○新井政府委員 此中デ長野・大町間ダケ
ハ全部止メマシテ、先程大石サンノ御話ノ
様似・幌泉間、靜原・鶴ヶ岡間ハ現在ノ所
デハヤラウト考ヘテ居リマス、ソレカラ田
島・新藤原間ニ付キマシテハ、現在ハ新藤
原ノ少シ上ノ川治溫泉マデ民營自動車ガ
行ッテ居リマスガ、ソレカラ田島マデハ民
營ノ自動車ハアリマセヌ、ソレ以外ハ自動
車ハナイノデアリマス

○大石委員 此長野・大町間ノ路線ヲ削除
セラレルコトニナリマシタコトハ、私ハ鐵
道省近來ノ大出來デアルト讚辭ヲ呈スルニ
吝カナラザル者デアリマス、願クバ此態度
ヲ以テ、此様度ヲ以テ總テノ省營「バス」ノ
運轉ニ御考慮ヲ願ヒタイト存ズルノデアリ
マス、此意味カラ申シマシテ、現在御計畫
ニナッテ居リマスル所ノ京都・鶴ヶ岡間ノ路
線或ハ京都・園部・福知山間、長野縣上松
線——松本、中川ヲ經テ青木ニ至ル間、或
ハ明科・中川間、富山・森本間ト云フヤウナ
色々ノ線ガゴザイマスルガ、是等ノ線ニ付
テモ再檢討ヲ爲サル御意思ガオアリニナリ
マスカドウカラ伺ッテ見タイトデアリマス、
此富山森本間、是ハ今日相當ノ民營業者ガ

民營運轉ヲヤッテ居リマシテ、是非省營ヲ運
轉セネバナラナイト云フ程ノ關係ハ、ナイ
ヂヤナカラウカト思フノデアリマス、現局
長ニ於カレマシテモ、政府當局ニ於カレマ
シテモ、先刻大臣ノ御答辯ノ如ク、三大原
則ヲ確守シテ、其立前ノ上ニ立ッテ、省營
「バス」ヲ計畫シ實行スルト云フコトカラ論
斷ヲ致シマスナラバ、此富山森本間ノ運轉
ノ如キモ強ヒテ爲サネバナラナイ必要ハナ
カラウ、然ルニ先刻例ヲ第一ニ取ッテ森本
金澤間ノ路線ハ、金福自動車及ビモウ一社
ガ既ニ民營デ運轉シテ居ル、金澤福光間、
或ハ金澤、石動、高岡ト云フヤウナ方面ニ
モ、民營「バス」ガ運轉ラシテ居ルノデアリ
マスガ、ソコヘアトカラ鐵道省ガ省營
「バス」ヲ計畫實行シマシテ、金澤森本間ハ
實際ニ於テハ四料アルノデアリマス、四料
アル所ノ料ヲ營業料ト稱シテ、一料トシテ
其料金ヲ民間ガ兩者協調ノ上十錢デヤッテ
居リマスモノヲ、省營「バス」ガアトカラ五
錢ニ値下ヲシテ、競争ノ狀態ニ陥ッタ、民
間側カラハ省營ノ運賃ガ安クナッタカラ、自
分等モ安クセネバナラスト云フノデ、料金
値下ノ申請ヲ出シマスト、中々許可ヲ與ヘ
ナイ、ヤット最近ニナッテ同額ノ値下ヲ許サ
レタト云フヤウナ實例ガアルノデアリマ

民營運轉ヲヤッテ居リマシテ、是非省營ヲ運
轉セネバナラナイト云フ程ノ關係ハ、ナイ
ヂヤナカラウカト思フノデアリマス、現局
長ニ於カレマシテモ、政府當局ニ於カレマ
シテモ、先刻大臣ノ御答辯ノ如ク、三大原
則ヲ確守シテ、其立前ノ上ニ立ッテ、省營
「バス」ヲ計畫シ實行スルト云フコトカラ論
斷ヲ致シマスナラバ、此富山森本間ノ運轉
ノ如キモ強ヒテ爲サネバナラナイ必要ハナ
カラウ、然ルニ先刻例ヲ第一ニ取ッテ森本
金澤間ノ路線ハ、金福自動車及ビモウ一社
ガ既ニ民營デ運轉シテ居ル、金澤福光間、
或ハ金澤、石動、高岡ト云フヤウナ方面ニ
モ、民營「バス」ガ運轉ラシテ居ルノデアリ
マスガ、ソコヘアトカラ鐵道省ガ省營
「バス」ヲ計畫實行シマシテ、金澤森本間ハ
實際ニ於テハ四料アルノデアリマス、四料
アル所ノ料ヲ營業料ト稱シテ、一料トシテ
其料金ヲ民間ガ兩者協調ノ上十錢デヤッテ
居リマスモノヲ、省營「バス」ガアトカラ五
錢ニ値下ヲシテ、競争ノ狀態ニ陥ッタ、民
間側カラハ省營ノ運賃ガ安クナッタカラ、自
分等モ安クセネバナラスト云フノデ、料金
値下ノ申請ヲ出シマスト、中々許可ヲ與ヘ
ナイ、ヤット最近ニナッテ同額ノ値下ヲ許サ
レタト云フヤウナ實例ガアルノデアリマ

ス、斯ウ云フヤウナコトヲ致シテマデモ、省營「バス」ヲ運轉セネバナラスト云フ事柄ガ、ドウモ吾々ニハ了解ガ付カヌノデアリマス、森本、富山間デモ相當ニ民間ニ於ケル事業ガ發達ヲ致シテ居リマス、相當ノ資力モ持ッテ居リマス、若シ現在ノ施設、現在ノ取扱、運轉回數ガ不足デアルトカ、或ハ客ノ扱ガ粗相デアルトカ、料金ガ高イトカ云フヤウナコトガアリマスルナラバ、鐵道省ノ監督權ノ發動ニ依ッテ、是等ノモノハ矯正ヲシ得ルモノデハナカラウカト思フノデアリマス、ソレデモ尙ホ彼等ガ應ゼズシテ、民意ニ副フコトノ出來ナイト云フ場合ニ於キマシテハ、是ハ或ハ省營ヲ行ハレテモ宜シイカモ知レマセヌ、又京都、鶴ヶ岡間ノ路線ノコトニ關シマシテモ、現在民間ノ「バス」ガ相當ノ回數ト、相當安キ料金ヲ以テ運轉ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、殊ニ最近其設備ヲ改メテ、體力ハ從來ノ京洛自動車株式會社ト、京北自動車商會ガ合同ヲ致シマシテ、二月十日ヨリ三十分毎ニ運轉ヲ致シテ居ル、隨ッテ料金モ高クナイト云フ關係カラ、地方民ハソレニ満足ヲ表シテ居ルノデアリマシテ、殊ニ此路線ニ對シマシテハ所謂有名ナル北山丸太ノ搬出ノ非常ニ多イ地方デアリマス、北山丸太ハ貨

物自動車ニ依ッテ運搬セラレテ居ルノデアリマスガ、此道路ハ幅員ニ於キマシテ、一番廣イ所デ六米アリマスケレドモ、大體ニ於テ狭イ所ハ二米二〇、或ハ三米一〇ト云フヤウナ所ガ屢、ゴザイマス、斯様ナ狹隘ナ路線デアリマスカラ、現ニ民間「バス」ノ運轉ニ依リ、又頻繁ナ北山丸太ノ運搬ノ爲ニ、交通上少カラザル障碍ト申シテハ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、不便ガアルノデアリマス、斯ウ云フ所へ今省營「バス」ヲ更ニ大型ノモノヲ、運轉シテ行カネバナラスト云フ地方ノ要望モナケレバ、又實際カラ必要モ認メラレナイト思フノデアリマス、殊ニ此路線ニ對シマシテハ貨物自動車ノ人ガ運署ヲシテ内務大臣、鐵道大臣ニ反對ノ陳情ヲ致シテ居リマス、此處ニ省營「バス」ノ運轉ガ開始セラレマシタナラバ、彼等ノ交通上非常ナル障碍ヲ及ボスト云フノハ、當然デアルト存ジテ居リマス、斯ウ云フ路線ニ付キマシテハヤハリ再檢討ヲ爲サル必要ガアルト存ズルノデアリマス、此路線ニ關聯ヲシマシテ先刻伺ヒマシタ殿田、靜原ノ路線ガ廢止セラル、ト云フ、是ガ若シ鐵道ノ開設ガ近イカラ、二重投資ガイケナイト云フナラバ、是又已ムヲ得ザルモノデアリマス、併シ鐵道ガ開通セラル、カ

ラ、鐵道「バス」ハ止メタ、ソレハ洵ニ結構デアリマスケレドモ、民間「バス」ノ盛ニ經營ヲ致シテ、漸ク成功ニ近付テ居ルヤウナ處へ、不慮ニ省營「バス」ヲ乘入レルト云フコトハ、少々御勝手ガ過ギハセヌカト思ハレルノデアリマス、殿田、靜原、鶴ヶ岡カラ安掛、弓削ヲ經テ京都ニ至ル線ヲ只今申シタノデアリマス、又千葉縣ノ佐原、成東線中、佐原多古間、多古芝山間、斯ウ云フモノモ關係ガアリマス、是ハ省營十一年度ノ計畫ニ依ッテ、佐原、成東路線ヲ決定セラレテ居ルノデアリマス、然ルニ此線ハ現在、香匝自動車商會ガ經營致シテ居リマシテ、佐原多古間二十二料ヲ五十錢、一日十八回、新式ノ車輛ヲ以テ運轉ヲ致シテ居ルノデアリマス、二十二料五十錢デアリマスレバ一料二錢五厘以下デアリマス、相當安イ料金デアリ、新式ノ車輛ヲ全部入レテ一日十八回往復ヲ致シテ居ルト致シマスレバ、其設備其回數ニ於キマシテモ地方人ノ不満足ナル筈ガナイノデアリマス、然ルニ省營ハ此佐原カラ多古ヲ經、芝山ヲ經テ延長セラレルコトニナッテ居ルノデアリマスガ、省營ハ即チ佐原成東線デアリマシテ、佐原カラ多古ヲ經、芝山ヲ經テ成東ニ至ル御計畫ニナッテ居リマス、佐原多古間ハ只

今申シタヤウナ民營「バス」ガ運轉ヲ致シテ居リマスルシ、成東芝山間ハ成田自動車ガ經營致シテ居リマシタモノヲ成田鐵道會社ガ買收ヲ致シマシテ、サウシテ是亦何等公衆ニ不便不利益ノナイヤウニ運轉ヲ致シテ居ルコトハ當局ニ於テモ御承知ノ通りデアルト存ジマス、斯様ナ線路、殊ニ多古芝山間ハ鐵道省ニ於キマシテハ、既ニ道路ガ開鑿セラレテ連絡ニ何等不自由ガナイヤウニ御話ニナッテ居ルサウデアリマスガ、實際ノ所ヲ調べテ見マスルト、多古芝山間ハ全ク道路ガナイノデアリマス、普通ノ人ノ交通ニスラ相當不便ヲ感ジテ居ルノデアリマシテ、自動車ヲ運轉スルヤウナ道路ハ絕對ナイノデアリマス、然ラバ縣ニ於テ此道路ヲ開鑿スル意思ガアルカト調べテ見マスルト、千葉縣ニ於キマシテハ此道路ヲ開鑿スル計畫ガナイ、ハッキリト言明ヲ致シテ居ル、殊ニ此路線ニ對シテ省營「バス」ノ計畫ガアリマスルヤ、沿線ノ町村長ハ舉ゲテ反對ノ意思ヲ表示シテ居ル、千葉縣會ハ全會一致ヲ以テ知事ニ反對ノ意見ヲ表示シテ居ルノデアリマス、斯様ナ關係カラ考ヘマシテモ此佐原成東路線ノ如キハヤハリ再檢討ヲセラル、必要ガアルモノト信ズルノデアリマス

次ニハ長野縣ノ所謂上松線、松本ヨリ青木ニ至ル關係、其中間中川ヨリ明科ニ至ル路線デアリマス、此路線ハ現在ニ於キマシテモ民營「バス」ガ松本ヨリ中川ヲ經テ青木ニ至リ、上田溫泉電氣軌道ト連絡ヲ保テ上田ニ行ッテ居ルノデアリマス、最初民營「バス」ノ運轉ヲ致シタル當時ハ篠井線ガ完成ヲ致シマセヌ關係カラ信越本線トノ連絡ガウマク取レマセヌノデ中々時間ガ掛ツタ、其後連絡ヲ取り、且ツ只今仰セノ速度ヲ上ボセラレタル關係ニ依ッテ松本篠井ヲ經テ上田ニ至リマスルニハ二時間十分乃至二十分ヲ以テ到着スルヤウニナッタノデアリマス、ソレデ此上田溫泉電氣軌道ノ方ヲ經テ省營「バス」デ行キマスナラバ三時間以上掛カルノデアリマスルカラ、是モ只今省營「バス」ヲ運轉スル必要ハ認メラレナイノデハナカラウカト思フ、殊ニ中川、青木間ハ殆ド人家ノナイ所デアリマス、又明科、中川間ノ路線モ從來民營ハ舊道ヲ走ッテ居ル、此度鐵道省ノ計畫ハ新道ヲ走ルコトニナッテ居ル、所ガ人家ノ所在ハ舊道ニ沿ウテアルノデアリマシテ、新道ノ方ニハ未ダ人家ガ出來テ居ラヌノデアリマス、仍テ明科、中川間ヲ運轉セラレマシテモ地方ノ便利ニハナラヌ、又明科、上田ノ時間モ之ニ

依ッテ短縮セラル、モノデモナイ、斯ウ云フコトニナルノデアリマスルカラ、是等ノ線モヤハリ再檢討ヲセラル、コトガ宜シイデハナカラウカト存ズルノデアリマス、次ニハ園部、須知、菟原ヲ經テ福知山ニ至ル線、京都、福知山間ノ此線モ再檢討ノ必要ノアル路線デアルト思フノデアリマスルガ、此京都、園部、福知山間ハ兩丹自動車商會ト丹波自動車會社ノ二社ガ一時間毎ニ運轉ヲ致シテ居ルノデアリマス、殊ニ一度省營ノ計畫ガアルト云フコトヲ聞キマシテカラ地方ノ希望モアリ、其他園部菟原間ニ於ケル各種ノ團體ノ人々ガ省營「バス」ノ却テ地方交通ニ即セズシテ不便ナルコトヲ悟ッテ、延期ノ陳情ヲ致シテ居ルト云フヤウナコトモアルノデアリマス、斯様ナ次第デアリマスカラ、大體現在御計畫ニナッテ居リマスル線路デアリマシテモ、ヤハリ此三大原則ト云フ立前カラ、又實際ノ實情ト照シ合セテ再檢討ヲナサル必要ガアルデハナカラウカト思フノデアリマス、先年二本ノ中ニ加リマシタ長野縣ニ於ケル和田峠線デアルトカ、松本諏訪線デアルト云フヤウナモノニ付キマシテモ、實際ニ私ハ長野縣ニ行キマシテ、實情ヲ見マシテ、此省營ト民業ト競争シテ居ルト云フヤウナ實情ヲ見テ驚イタ程

デアアルノデアリマス、三大原則ト云フ意味カラ考ヘテモ、現在長野縣ナドニ於キマシテヤッテ居ラレマスル狀況ハ、洵ニドウモ宜シクナイ、和田峠ノ路線ノ如キハ民間ノ方ニハ非常ニ乘客ガ多イノデアリマスガ、省營「バス」ノ方ハガラ空キニナッテ居ルノデアリマス、客ノ數ヲ見マシタナラバ殆ド四分ノ一ニ達シナイト云フヤウナ工合デアリマシテ、却テ民間「バス」ノ方ハ地方民ノ人氣ヲ呼ンデ居ル、又私ノ方ノ宮城縣ニ於キマスル角田、大河原間デアリマスガ、是モ地方ノ要望ガアルカラト云フノデ、省營「バス」ヲ運轉セラレマシタガ、秋山ト云フ者ノ經營シテ居リマスル自動車ガ現在其處ヲ運轉シテ居ル所ヘ省營「バス」ガ進出ヲ致シタ、一年以内ニ止メテ居リマシタラ省ノ補償ガアッタデアリマセウケレドモ、其補償ノ程度ガ不安デアッタガ爲ニツヒ一年ヲ過ギテ經營ヲ致シテ居リマスルト、今日ハ相當ニ民間ノ方ニ同情ガ集ッテ居ルト云フヤウナコトモ段々出テ參ツタ、又民營ト省營トハ通學運賃ニ於キマシテ餘程ノ違ヒガアッテ、通學上ノ不便ヲ感ジテ居ルト云フヤウナコトモアルノデアリマス、サウ云フ點ハ曾テ私ガ申シマシタ長野縣ノ實例ノヤウナコトガ省營「バス」ノ運轉ガ擴張スルニ

從ッテ各地方ニ認メラレ、又先刻申シマシタ營業料、金澤森本間ノ此四軒ヲ一軒ト短縮ヲシテ居ルバカリデハナイ、長野縣ニ於キマシテモ其實例ガアルノデアリマス、隨テ全國ニ營業料ノ悪用ガ行ハレテ居ルコトト思フノデアリマス、是ハ要スルニ民業ト對立狀態ニ、國ト國民ト對立狀態ニ陥ルト云フコトハ、非常ニ忌ムベキ避ケネバナラヌ政治上ノ重要ナル關係デハナイカト私ハ思フノデアリマス、私ハ何故ニ先刻根本方針ヲ伺ツカト云フト、其根本方針ハ眞ニ國民ノ交通ヲ助クル爲ニ、國民ノ足ヲ便利ニシテヤラウト云フ意味カラ投資額ガ少クシテ、其便利ガ得ラレルト云フ關係カラ、便法トシテ自動車ガ運轉セラレタモノト思フノニ、此頃ハ盛ニ民業ト競争ノ形ヲ取り、對立ノ形ヲ取ッテ居リマスルコトハ、政治上洵ニ是ハ忌ムベキ慎シムベキ事柄デアルト存ジテ居リマス、又モウ一ツ私共甚ダ怪訝ニ堪ヘナイ實例ハ、石川縣ノ七尾丸中汽船株式會社ニ對スル鐵道省ノ態度デアリマス、丸中汽船株式會社ハ曩ニ鐵道ノ開設前ニ於キマシテハ、能登半島ニ於ケル唯一ノ交通デアッタル定期汽船ヲ運航シテ、是ガ縣ヤ其他官公衙方面カラ非常ニ望マレマシテ、サウシテ他ノ會社ヲ合併シテ汽船ヲ運航シテ能

登半島ノ交通ニ貢獻致シテ居ッタ、其後鐵道ノ開設ニ依リマシテ丸中汽船ト云フモノハ非常ナ經營難ニ陥ッタノデアリマス、此頃此地方ノ人ニ聞キマス、ドウモ鐵道省ハ嘘バカリ吐クモノデアルト云フテ怨ンデ居ル、ソレハドウ云フコトデアアルカト言フタラ、嘘カ本當カ分リマセヌガ、關釜連絡船ガ新ニ出來テ從來ノモノガ廢止セラレル、前方ガ隨分鐵道ノ爲ニ難儀ヲシテ、別ニ縣カラモ國カラモ補助ヲ取レル途モナク氣ノ毒デアルカラ、アレヲ隨意契約ヲ以テ拂下グルヤウニシテヤルト言ハレルノデ、ソレヲ當テニシテ居リマシタ所ガ、先頃はガ公入札ニ付サレテ、是ハ公入札ヲスルカラオ前モ入札シタラ宜カラウト云フコトニナッテ、結局隨意契約ガ出來ナカッタ、ソレガ爲ニドウモオ役所ハ嘘ヲ言フモノデアルト云フコトヲ言ッテ居ルノデアリマス、斯様ナコトニハ先ヅ姑ク間接ノコト、シテ置キマシテ、直接此丸中汽船ト省營「バス」トノ關係ガ起ッテ參ッタ、ソレハ穴水飯田間、飯田嶋島間、此間ニ丸中汽船株式會社ハ自動車運輸業ヲヤッテ居リマス、民間ノ「バス」ヲヤッテ居リマシタ所ガ、省營「バス」ガ昭和十年ノ十月一日カラ俄ニ運轉セラレルコトニナリマシタノデ、同會社ハ經營ヲ止シテ、其省

營「バス」ノ運轉ト前後シテ直チニ自分ノ自動車ノ運轉ヲ止メテ、殆下半年以上鐵道ノ賠償ニ付テ待ッテ居リマス、何ノ交渉モナク非常ニ不安ニ堪ヘナイト云フノデ、遂ニ悲壯ナル決心ヲ以テ再ビ十一年六月一日カラ同區間ヲ再運轉スルコトニナッタノデアリマス、サウスルト省營ハ今度ハ從來往復ノ少カッタ同區間ヲ俄ニ運轉ヲヤリ出シ、殊ニ石川縣内ニ於テ運轉ヲスル自動車ニ福井縣或ハ鳥取縣ノ自動車ヲ持ッテ來テ俄ニ増車ヲシテ往復數ヲ増シテ、サウシテ報復ノ狀態ニ入ッタ、斯ウ云フ事實ガアリマスガ、ソレガ爲ニ昨年鐵道省從業員ト丸中汽船從業員トノ間ニ血ヲ流スヤウナ慘事ヲ演ジタ、斯様ナコトガアルノデアリマシテ、是ハ洵ニ私ハ國トシテ大人ゲナイヤリ方デハナイカト思ッテ居ルノデアリマス、丸中汽船ハ穴水飯田間ハ六十糎アリマシテ、一糎一錢五厘、一圓五十錢デヤッテ居リマス、省營ハ營業料ヲ四十八糎ト致シテ居リマス、六十糎アリマスル所ヲ四十八糎ニ短縮ヲシテ、營業料ト稱シテ、サウシテ一糎三錢ノ割合デ一圓四十四錢デ運轉ヲ始メタノデアリマス、ソコデ丸中汽船ニ於キマシテモ、省營ヨリ高イ料金デハ困ルト云フノデ、昭和十年五月十八日ヲ以テ値下出願ヲ致シマシタ

ル所、更ニ許可ニナラナイ、漸ク昨年ノ十一月二十七日ニ省營ノ値段ト同額ノ値段ニ引下ゲルコトノ認可ガ出テ、爾來現在ニ於キマシテハ、省營ト同額ノ一圓四十四錢ヲ以テ營業ヲ致シテ居ル、スルト地方ノ狀況ハ實際ヤハリ弱イ者ニ味方スルト云フ關係カラ、丸中汽船ノ方ノ乘客ガ著シク殖エマシテ、從來省營「バス」運轉前ニ單獨營業ヲ致シテ居リマシタ時ヨリモ、丸中汽船ノ收入ハ激増ヲシタ、斯ウ云フヤウナ現象ヲ呈シテ居ルノデアリマス、是等ノ關係ガヤハリ省營ノ三大原則ヲ外レテ居ルト云フコトヲ屢、物語ッテ居ルモノデアリマシテ、國トシテ斯様ナ大人ゲナイ態度ハ私ハ餘リ褒メタコトデナイト思フノデアリマス、丸中汽船ハ經營狀態ニ於キマシテ一時困難ニ陥リ、ソレカラ省營「バス」ノ運轉ニ依ッテ、自分ノ營業ヲ中斷シテ、サウシテ其適當ナル御指導ヲ待ッテ居ッタ、爾來屢、當局ニモ陳情モスレバ非常ナ犧牲ヲ拂ッテ運動ヲシテ居ッタ、此狀態ヲ聞キマシテ、私ハ洵ニ氣ノ毒ニ堪エナイト思フタノデアリマス、斯ウ云フヤウナコトヲ實際ニ見マスル以上ハヤハリ國ト致シマシテハ、三大原則ノ下ニ歸ッテ、サウシテ現在ノ御計畫ノ未著手續ニ對シテモ再檢討ヲセラレテ、削ルベキハ

削リ、民間ニ於テ適當ニ間ニ合フモノアレバ民間ヲシテヤラシメルト云フヤウナコトニナサレマスコトヲ望ミ、又長野大町線ヲ削除セラレタル此程度、此雅量ニ對シテ滿幅ノ敬意ヲ拂フト同時ニ、將來ニ向ッテ又私ノ御願ヲスル點デアリマス、此點ニ對シテ御考ヲ御同致シタイ

○新井政府委員 大石サンノ第一ノ御質問デアリマス、將來再檢討スルカト云フ御質問デアリマスガ、鐵道會議ヲ通リマシタ線路デ只今三十數線殘ッテ居リマス、ソレ等ニ付キマシテ、省ト致シマシテハ常ニ其線ノ實情ヲ調査致シマシテ、ドウシタノガ一番國民ノ御希望ニ副フ點デアアルカト云フコトニ付テハ、各線トモ再檢討ヲ致ス積リデ居リマス、ソレカラ色々各線ニ付テ富山森本トカ或ハ京都鶴ヶ岡トカ云フヤウナ線ニ付テ御希望ガアリマシタガ、御説モアリマスノデ、私等ノ方ノ誤ッテ居リマシタ所ハ直チニ直シマス、又斯ウスルコトガ國民ノ爲ニナルノダト云フ所ハ實行シタイト考ヘテ居リマス、此各線ニ付キマシテ何か御答辯致シマセウカ、如何デセウカ

○大石委員 若シ私ヨリ申上ゲタコトガ違ッテ居リマスル點ガアリマスルナラバ―若シ間違ナカッタナラ大體今ノ御答辯デ

宜シウゴザイマス

○新井政府委員 間違ト云フノデモアリマセヌガ、色々意見ノ相違ノ點ガアリマスノデス、ソレカラ二三申上ゲテ置キタイト思ヒマスコトハ、京都鶴ヶ岡線ハ全然縣トノ交渉モ終リマシテ、三月ノ末カラ開業スル段取ニナツテ居リマスノデ、今更之ハ仕方ガナイト思ヒマス、而シテ此道路ニ付キマシテハ、御説ノヤウニ狭イ處モアリマスガ、是ハ内務省ト協定方最近ニ出來マシテ、省營「バス」ヲ運轉スル時ニハ、車輛ノ大小ニ依リマシテ、三・六米カラ五・五米ニ、其間ノ路線ヲ車輛ノ大キサニ應ジテ直スト云フコトニナツテ居リマスカラ、道路ハ擴張シ得ルト思ツテ居リマス

ソレカラ丸中汽船ノコトニ付キマシテ色々御話ガアリマシタガ、是ハ色々行違ヒガアリマシタシ、又世間等デモ誇大サレタヤウナ點モアリマスガ、餘リ言譯ニナルヤウナコトハ申サヌデ、其儘ニシテ置キタイト思ツテ居リマス

○大石委員 營業料ニ付テ一ツ御意見ガアレバ……

○新井政府委員 森本金澤間ノ營業料ノコトデアリマスガ、是ハ當初計畫致シマシタ時ニ、鐵道省ハ金澤ニ電車ガアリマスノ

デ、其電車ノ運賃ト同ジクヤリマシタ、御説ノ如ク鐵道省ハ五錢、民營ノ自動車ハ十

錢、電車ハ五錢ト云フコトニナツテ居リマス、併シ料程、先程カラ申シテ居リマシタガ、大體鐵道省ハ既設ノ營業シテ居リマスモノニ對シテ、既設ノモノト少クトモ同價格ニスル、高クスルコトハ好マヌト云フ立場カラ、運賃ヲ設定シテ居ルノデアリマス、言換ヘテ見マスレバ、既設ノ運賃ヨリ鐵道省ガ經營スル時ニ高クナッタト云フコトニナリマスコトハ、國トシテ國民ニ相濟マヌト云フ點カラシテ、サウ云フ運賃ヲ作ッテ居リマシタノデス、先程料程ト申シタノハサウ云フ點カラ出テ參リマシタ運賃計算ノ方法ナンデス、併シ鐵道省ノ自動車ハ開業日尙ホ淺クアリマシテ、運賃等ニ付テハ色々考究スベキ點ガマダ多クアルノデアリマス、又將來訂正シナケレバナラヌ點モアルト思フノデアリマス、デアリマスカラ運賃問題ヲドウスルカ、言換ヘテ見マスレバ、今三錢、二錢七厘、二錢五厘ト云フ運賃ヲ三樣持ッテ居リマスガ、鐵道省線ト同ジク一錢五厘ニシタノガ宜イデハナイカト云フ議論ガアルノデアリマス、サウ云フ風ナ點ヲ折角研究中デアリマスカラ、サウ遠クナイ機會ニ於キマシテ、大石サンノ御希望ノヤ

ウナコトガ實現シ得ルト考ヘテ居リマス

○清瀬委員長 大石君、モウ十二時半ヲ過ギマシタガ、若シアナク短イナラヤッテ戴キ、長カッタラ次ニモウ一遍ヤラナケレバナリマセヌカラ、其時ニ——ドチラデモ御都合デ……

○大石委員 マダ一時間位掛リマスガ……

○清瀬委員長 ソレデハ本日ハ此程度デ御止メ願ッテ次ニシマスカ、宜シウゴザイマスネ

○大石委員 ソレデ宜シウゴザイマス

○清瀬委員長 ソレデハサウ云フコトニ致シマス、本日ハ是デ散會致シマス

午後零時三十九分散會

昭和十二年三月八日印刷

昭和十二年三月九日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社